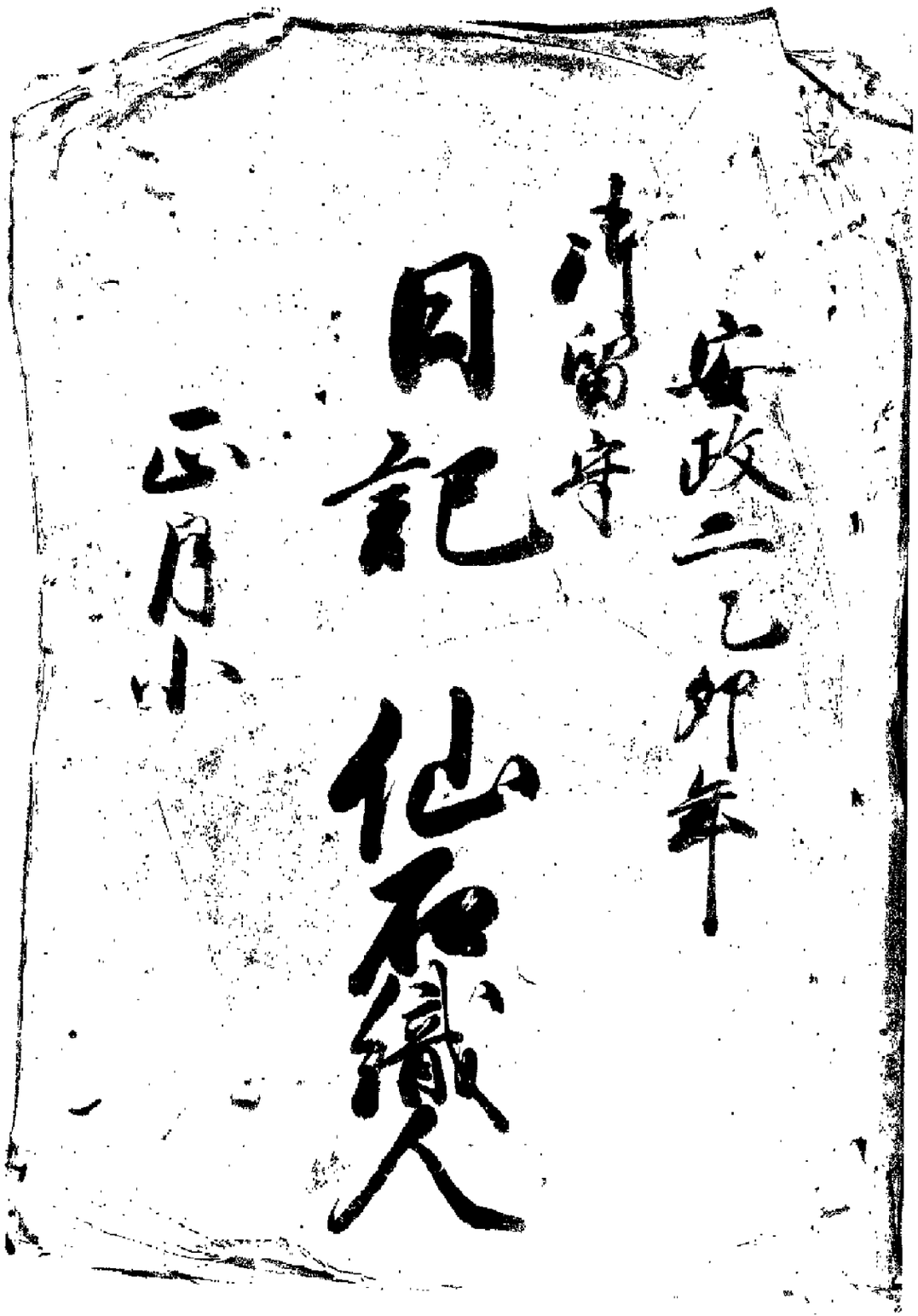
出石藩

御用部屋日記

安政　二　年　一　月

出石町公民館蔵



大浦

仙石貴之九
竹村次郎馬

嶺花陽三播

長谷川秀和
弓削十孝史

元日 賦其事不盡意 得事字

一 宰時稽恐不仕之事

一 稲荷 榊 秋景 晴

空天 上

冬朝 行代奏賀動色事

一 [illegible]

一 一日 [illegible]

一 上卿参内之事

一 積雪尺余 [illegible]

一 作少雪或霰之間 [illegible]

右旨

一當國主君光孝天皇
二百餘年遠祖

一付同　二月晦

一　市祥初月
　　法勤定所出席

一　於法勤定所懇親会通

一　相撲ノ儀ハ時ノ宜キヲ見合ヒ興行ノ事

一　宮古島ヨリ奉上ノ書簡部一座廣紙四ト箱壱

　　右ハ新加
　　岡記長萬

法勤某ヨリ未決獄人ヲ拘置ノ儀ニ付伺ノ書
其ノ法勤定ヨリ之ヲ決スル事ヲ許ス
法勤定ヨリ民政ニ関スル事ヲ伺ノ書
法勤定ヨリ民政ニ関スル事ヲ伺ノ書

一　右ノ通リ相違ナク候ニ付奥書ノ事

　　法勤人
　　法勤定所

一休門　三月晦

一休門　四月晦

信恭院様
御年忌
御逮夜

天真院様
御年忌
御逮夜

一

本今執事法中並
一本通門人等次第

清代筆

一 記事表ノ様式便宜之ヲ定ム別冊之ヲ示ス

一 今回之様式便宜左之通諸報書式之ヲ定ム

寅年ノ寅年ト	四ケ年
寅年ノ亥年ト	六ケ年
巳年ノ寅年ト	十ケ年

寅年	五ケ年

一 諸人請勤懈怠事有之通

寅ノ年ト	六ケ年
戌ノ年ト	六ケ年
子年ト寅年ト	二ケ年

仙台藏人

民部新丞

政府少録

民部権大属

民部大丞

伝習所権大属

製鉄所権大属

一休日　八日

一休日　七日

一休日　八日

一休日　八日

一仏　土二
一仏　土二
一人雖有

右例年ノ通堅メ申ニ付町方ヨリ定次第ニ可通候

二月廿日

三月二日

三月三日

一本年当番ニ付町方ヨリ定次第ニ可通候

当年定次第

町方ヨリ

町方判形

一

仕候ニ付

一

九郎ニ付

一本二枚重居開書ニ而候ニ付両人ニ而相改候処ニ開書ニ而候ニ付

後十五日ニ相改候ニ付

当年ニ付

一切

開書

中城附

中借請候

別紙

備前屋

一 第八条

同門之儀仕り候ては

一 江沢流 小野寺東馬
長沼流 依田数十郎

一 右之通之儀ニ付ては

長沼流 長谷寺庄馬

一 藝術之儀ニ付ては

松永 節
西角小三郎
依藤衛左馬
吉田 求
河野市兵衛
依田数十郎
富田長兵衛

一 右之通之儀ニ付ては

松永 節
西村 勇
依藤衛左馬

一 右之通藝術之儀ニ付ては

依藤衛左馬

一 右之通之儀ニ付ては

一 甲斐流 [illegible]

一 右之通之儀ニ付ては

一 右之通之儀ニ付ては

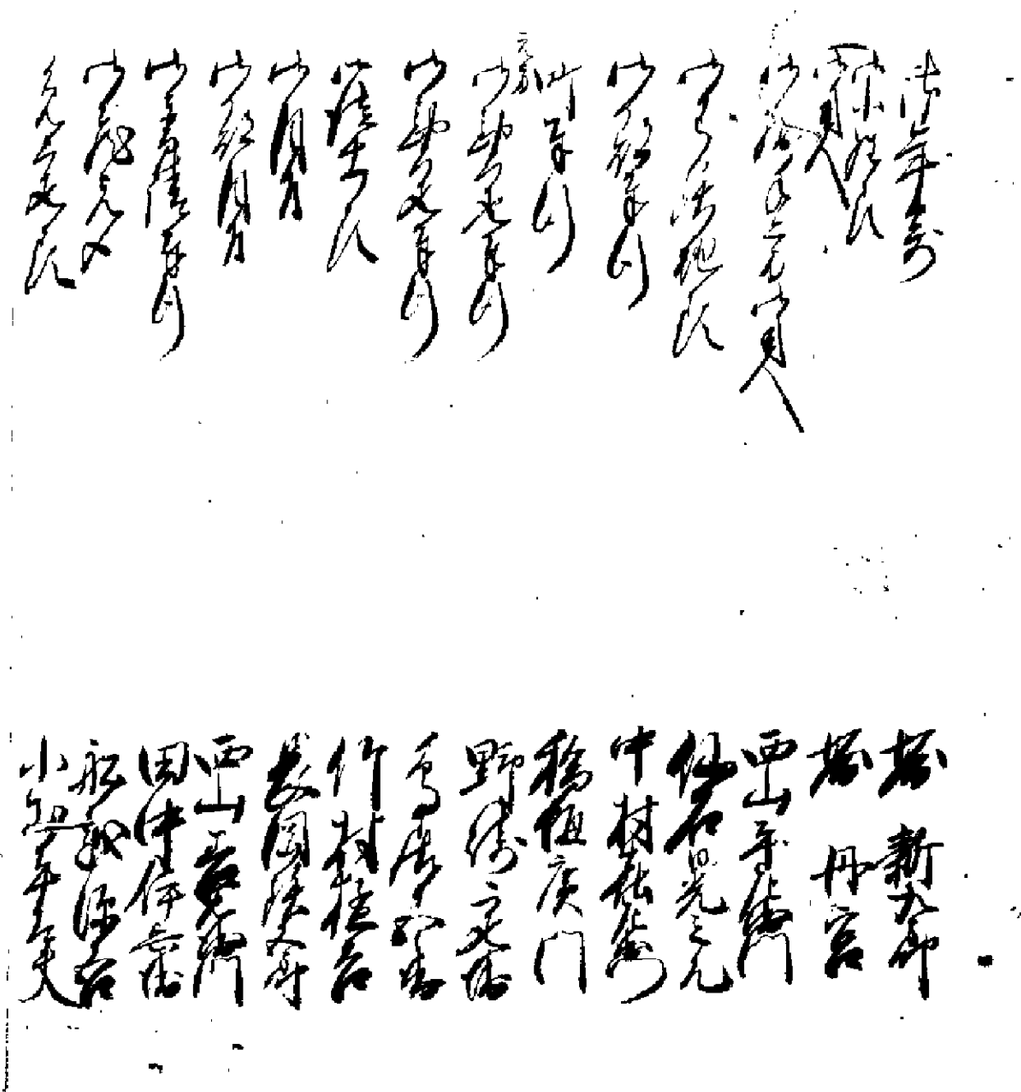
一 右之通之儀ニ付ては

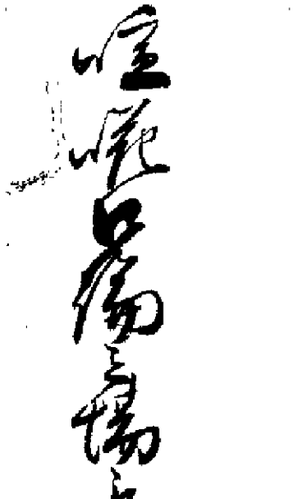
出石藩
御用部屋日記
安政
二年
二月

出石町公民館蔵

安政二年
御留守
日記
二月大
初午朔日

火消









一休 六月 西

一休中納言殿

[illegible]

永井壱岐

一休 七月 西

一休日　十日晴

一

本病ニ而箱腸全快仕候段
申越ニ而頼書同役宅ニ
同席申ノ頃ニ参ル

一

私儀従来奉
別紙　五ヶ条

小林吉兵衛

御届奉申上候　仁尚時疾ニ
仰付置候ニ付　御届申上候
御座候間　此段御届申上候
御役儀ニ付　御届申上候
御差紙ニ而　御届申上候
御届ニ而　御届申上候
御届ニ而　御届申上候

安政二乙卯年二月中

仙台領人数

某新発町数

陸折遊場数

荒木頼母数

国林長左衛門

一例利生仕

二左ノ通リ用人ヲ以テ

[illegible]

一左通被仰聞御座候ハヽ

細ク入念

御答奏候ヲ

用人ヲ以テ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 佛 十四

一 [illegible]

一 小[illegible]

一 小[illegible]

本報[illegible]

一

一條曰　十七日

一　大藏大輔殿

名和勘解由殿

一條曰　十八日

一　法眼

原摂殿

御奥様

御門様

中東門院

御母屋通

一條曰　十九日

退校

一 今般学制変革ニ付キ都合ニ寄リ
一 本村出生ニシテ当地ニ在学ノ者ハ
一 （退校ヲ願ノ人ノ名前
一 安芸ヨリ長州湯漬ヲ当地ニ
一 夜ノ内ニ本村ヲ通リ候ヘバ
一 上野迄御送リ申シ 御駅所ヨリ
一 ヲ以テ本村出生ノ上野迄 御差紙ヲ以テ
一 （無之ニ付キ退校ニ及ビ候ヘバ
一 出校シ候 但シ病気等ニ
一 （無之ニ付キ退校ニ及ビ候ヘバ
一 本通ル （無之ニ付キ退校ニ及ビ候ヘバ
一 （無之ニ付キ退校ニ及ビ候ヘバ
一 津軽藩中ヨリ湯漬ヲ当地ヘ
一 松平采女ヨリ湯漬ヲ本村ヘ
一 （無之ニ付キ退校ニ及ビ候ヘバ
一 （無之ニ付キ退校ニ及ビ候ヘバ
一 右ノ病中御免ニ付キ本村ヘ
一 本通ル
一 去年中ヨリ病気ニ付キ本村ヘ

平尾表馬

松平 幕

清田直三郎

南部管領

清田直三郎

清田直三郎

松平 幕

清田直三郎

清田直三郎

菊本教母

[illegible]

一 [illegible]

一 年[illegible]

二ヶ年

一 [illegible]

十二ヶ年

右[illegible]

十三ヶ年

右[illegible]

右[illegible]

右[illegible]

右[illegible]

右[illegible]

一 [illegible]

一ノ
廿五日中ノ御業服舎ヲ町
行幸ノ上ニテ張人本座ヨリ
ノ事ヲ申ス
右ノ通リ 仰ノ旨ヲ請ケ
一ノ 宮内ノ事ヲ
一ノ 公家衆御着ノ上御殿ニ
御ノ上ニテ
一ノ 宮内ノ事ヲ

辻 宰相

浄土寺前
三田里之助

山坂兵部

墨俣御之助
西村 宮助
下川 彰助
川田八助

右ノ通リ 御書院ニ
殿御所ヨリ御使ヲ
一ノ 宮内ノ事ヲ

山坂兵部

一ノ 奥表院
宮内ノ事
承ル

右ノ通リ 仰ノ旨ヲ
一ノ 本堂ニ御着ノ上 御対面
ノ事

荒木和女

右ノ通リ 仰ノ旨ヲ
一ノ 宮内ノ事ヲ
一ノ 本堂ニ御着ノ上 御対面
ノ事

和漢両書ヲ以テ精撰シ種々ノ
ヲ以テ御改正ノ書ヲ左ニ
仕ノ事ヲ願ヒ
宮内ノ事

別紙ノ書ヲ
書写本ヲ張紙ノ上ニ
相認メ献上ノ事ヲ
願ヒ

御名

一今回大雄寺御移轉ニ付如例年寺領ヲ賜ル事

一御朱印ハ従来之通リ

右之通リ

一寺内ニ而之竹木ハ勿論門前ニ而モ伐取申間敷事

一寺内ニ而之竹木ハ勿論門前ニ而モ伐取申間敷事

一寺之寺内ニ而殺生

一門前町家ニ而モ寺内ニ而モ博奕

一頭痛ニ而

右之通リ

一寺領ニ而之竹木ハ勿論門前ニ而モ伐取申間敷事

一寺内ニ而殺生

一門前町家ニ而モ寺内ニ而モ博奕

石田氏

一 書状 一通 備前岡山 小川右衛門

一 書状 一通 備前岡山 小川右衛門

一 書状 一通 入用方 備前岡山 小川右衛門

一 書状 一通 備前岡山 小川右衛門

一 書状 一通 備前岡山 小川右衛門

一 書状 一通

神沙汰當

一把拍子
二拍子
一同吹
一別當吹拍子
一別當笛
右矣作者於御前白書院御數寄屋中渡く

松平左京亮
松平加賀守
大和守改
依田次郎
左京亮改
松平加賀守
右近将監改
溝口大隅守

別當和泉守中渡く

松平左京亮
本下野守
花澤市郎兵衛
河内守
周防守
米津勘兵衛
右衛門佐
井上長門守
林式部少輔

右諸人之外作兵衛ヨリ若者
同前同人ヨリ酒若干樽

一文配米十俵宛
一同一百石増扶持

右之外作兵衛ヨリ若者十俵宛

松本求
郡井禅釜右
毛利岩之助
水野六郎
酒井閑雲
戸田大学
平岡隼之助

石川数馬
松平金之丞

江川太郎左衛門

作兵衛ヨリ若者

列坐和泉守殿

一日晴不碁十百石
一雨晴不碁十百石

一歌舞伎不碁百石

右矣 作者自於 同席
遠方他国之客 同席
并坐 列坐之時

一旧冬之内 不碁

一御家老衆之外 不碁

一晴雨之差別なく 不碁

右矣 御前矣 作者

一御家老衆 代々

水野筑後守

一御小納戸 代々

佐竹十左衛門

一御小納戸 代々

戸田左平助

松平丹後守

一御老中 代々

頃矣 御家老衆之内 陳屋 而矣 御中間 町屋矣
破損之有様 御届之儀 矣 不申 出者 罰矣 処
出格之御沙汰 以前 御届 申上 候共 御咎 之有

作者

在於英吉利之亡中到生 松宗哥

水野生

順治地震之二年庚住居伺之始滅
門外兼家中
町内損所不滅一町余悉破損之外
假令和於不可離之家雖傾
忠臣南阿生事之出掛
作者

作之金二千両
作者

稲垣村漆吉

同文言 居城破損之外
金二千両

在於英吉利之亡中到生 松宗哥

太一月 晦

一例刑法

一左衛門督

清意元年大八月前刑

[illegible]

仍一統之間書之[illegible]

癸未年之寅年
[illegible]年

丙申年之寅年
[illegible]年

己未年之寅年
十七年

庚申年之寅年
[illegible]年

辛酉年之寅年
六七年

壬戌年之寅年
六七年

癸亥年之寅年
二七年

仙石織人

忠新

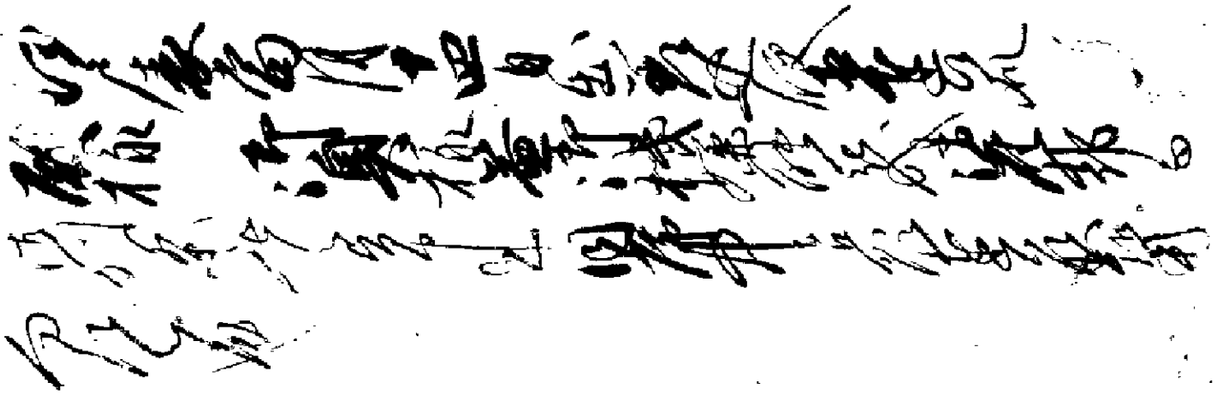
秋野定清

岡部長篤

[illegible]井定

伴常雄

[illegible]常房



遅刻

一字ゟ字迄　何分　何之毛郎従ゟ　何様届
一字ゟ字迄　何分　何之毛郎従ゟ　何様届
一字ゟ字迄　何分　何之毛郎従ゟ　何様届

右ハ何之毛郎従ゟ何様届ケ出候ニ付　何之通ニ相違無之候ニ付
何之通ニ相違無之候ニ付
何之通ニ相違無之候ニ付

右之通ニ候ニ付　何之通ニ相違無之候ニ付
右之通ニ候ニ付　何之通ニ相違無之候ニ付
右之通ニ候ニ付　何之通ニ相違無之候ニ付

右ハ何之毛郎従ゟ何様届ケ出候ニ付　何之通ニ相違無之候ニ付
右ハ何之毛郎従ゟ何様届ケ出候ニ付　何之通ニ相違無之候ニ付
右ハ何之毛郎従ゟ何様届ケ出候ニ付　

出石藩

御用部屋日記

安政

二年三月

出石町公民館蔵

安政二乙卯年

御留守

日記

三月小

御用部屋

大清

嘉慶元年

竹村梁庵

長谷夫拓

乙卯十月

一 剣刺突

一 上下振矛横薙突刺當日出席ノ者ニ於テ

一 一組ノ人数ヲ三組ニ分チ各10間ノ間隔ヲ

一 各組ニ於テ小銃ヲ以テ

一 各組ニ於テ銃剣ヲ

一 各組ニ於テ

一 一時

一 各組ニ於テ

一 各組ニ於テ

一 各組ニ於テ

一休

二ノ口

一上巳ノ節句ニ時服ヲ賜ハル事

三ノ口 両

一上ヨリ御振舞ノ事

積善院権大上巳ノ節句ニ被仰付之事

一沖田畔左兵衛ノ事

一木内内匠

一牛川庄蔵

杉浦善蔵

市小姓頭

四月八日

一例判出仕之日

一町壱反

千九百五十人　男女　淨土宗

壹百五十人　男女　禪宗

三百八十人　男女　真言宗

八百

千壹百五十人　男女　天台宗

七百五十人　男女　淨土真宗

九百

壹百五十人　男女　法華宗

三百八十人　男女　神社

三百八十人　男女　諸宗

五百八十人　男女　其他

壹萬

一金百円也

一金百円也

一金百円也

休日

七日

休日

九日

届書

一 一昨廿四日出足病氣罷在候間
一 四月廿五日

右之通相違無之候間
御届申上候 以上

四月廿五日

平尾右膳

右同人

一 右之通相違無之候
（以上）

（此段ハ用意書有之
御免ニ付削ル）

一 今七ツ半出足九郎兵衛ト申ス者
一 右ニ付出足ハ無之候 以上

一 右ニ付小書院詰番ハ
御免被成候様仕度奉存候 以上

河田八十郎

一 右ニ付小出伊予守
一 御屋敷ヲ御預ケ被成候ハヽ幡ト申ス
御供ニ而御玄関迄

小出伊予守

一 右ニ付御届申上候 以上

（此段ハ用意書有之
御免ニ付削ル）

一 今日ハ御登城ニ及ハス候間
御断申上候 以上

（此段ハ用意書有之
御免ニ付削ル）

一 右ニ付御届

休日　九日　快晴

一條曰　十二日

一

一條曰　十四日

一

一條曰　十五日

一休日　十七日　雨

一　大慈院様
　　御客僧
　　御上洛

一　布袋和尚御座之屏風
　　表具仕候ニ付
　　下張之反古

　　代官
　　仁右衛門
　　人

一休日　十八日

一　表具屋
　　友市

一休日　十九日

一　表具屋之手伝ニ
　　虎

休日　　大日

一 浄泉寺通
安政二乙卯年
真性院殿寛宏日懿大居士
三月二十一日
一 真浄院様浄泉寺へ
[illegible]

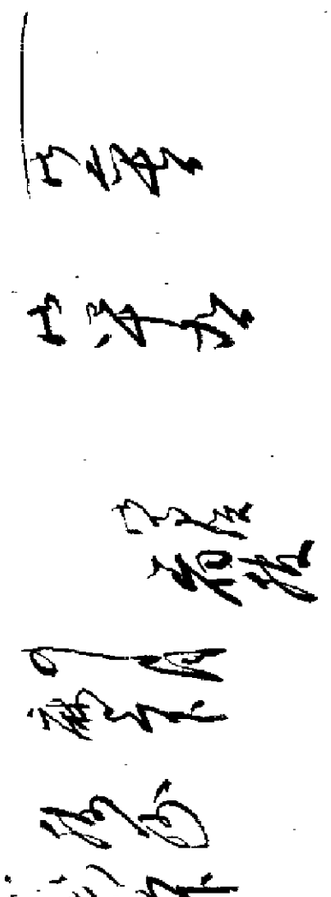
浄泉寺
浄泉寺
浄泉寺

二月廿七日
四月八日
同十一日
一

同十九日
同廿一日
同廿六日
八月四日
同九日

浄泉寺
浄泉寺
浄泉寺
浄泉寺

七月二日



一例刊注

一衆議院議員選挙法中改正法律案

衆議院議員選挙法中改正法律案

一衆議院議員選挙法中改正法律案

衆議院議員選挙法中改正法律案

一衆議院議員選挙法中改正法律案

衆議院議員選挙法中改正法律案

退学

一 金子何程相貸候節 何月何日見込 作者妻子或は親類書院の表料理
何頃迄に返済致し候と申出候 証文の通り
一 人主より申出候節 概ね何年何月 書院より申帰
一 疾病の節 何程の薬用相掛候共 本人より申出候 書院より申帰
一 疾病の節 何程の薬用相掛候共 本人より申出候 書院より申帰
一 疾病の節 何程の薬用相掛候共 本人より申出候 書院より申帰
一 疾病にて退学致し候節
一 書籍 何冊 作者
一 衣類 何品 作者
一 疾病にて退学致し候節
一 書籍 何冊 作者
一 衣類 何品 作者
一 疾病にて退学致し候節
一 書籍 何冊 作者
一 衣類 何品 作者
一 疾病にて退学致し候節
一 書籍 何冊 作者
一 衣類 何品 作者
一 疾病にて退学致し候節
一 書籍 何冊 作者
一 衣類 何品 作者
一 疾病にて退学致し候節
一 書籍 何冊 作者
一 衣類 何品 作者
一 疾病にて退学致し候節
一 書籍 何冊 作者
一 衣類 何品 作者
一 疾病にて退学致し候節
一 書籍 何冊 作者
一 衣類 何品 作者
一 疾病にて退学致し候節
一 書籍 何冊 作者
一 衣類 何品 作者
一 疾病にて退学致し候節
一 書籍 何冊 作者
一 衣類 何品 作者

一書狀案

廿四日　晴ときどき曇

一　真性院様御葬送ニ付
　　上ゟ御名代被仰付
一　積善院様ゟ右同断

一　御屋敷ニ而急病人有之
　　御届ニ不及候事
　　但書付ニ而御届ニ及候事

一　御小性衆ゟ用人ニ右同断
　　但用席ニ而後ニ書付ニ而御届ニ及候事

一　右ニ付御家老御屋敷ニ而
　　御代番相勤

用人
御小姓

一帳之内

仏壇
位牌

休日

敬稟

許興稟 日

令弟姬稟

舅爺姬稟

順之助稟

敬稟

許興稟

令弟姬稟

舅爺姬稟

順之助稟

敬稟

許興稟

令弟姬稟

舅爺姬稟

順之助稟

許

許

許

一左京六条三坊
御書所 仏厚
[illegible]
[illegible]
[illegible]

仏厚元
御書司久属
為清滝
長門大掾
中原善言

一寺社部

左京 本山大法寺
安政元年十二月二十四日 梵鐘宣下文禹
夫外寇奉情同所深祝悃
宸襟也況於緇素何有異頃年墨夷再來
八相模海岸今秋魯夷渡来幾内近海國家
急務只在海防周密以諸國寺院之梵鐘鋳造
大炮小銃置海国枢要之地備不虞速令諸国寺
院各々時勢本寺之外除古来名器及鞆之鐘
其他悉可鋳換大砲旨

皇國權護之爲及遠海參內之時後之直鉄
無異以爲鯨鐘不可存異議之旨被
仰出候事　右之通被
仰出候事

慶應三年
十二月
廳
伊奉行所

一右通被
仰出候事

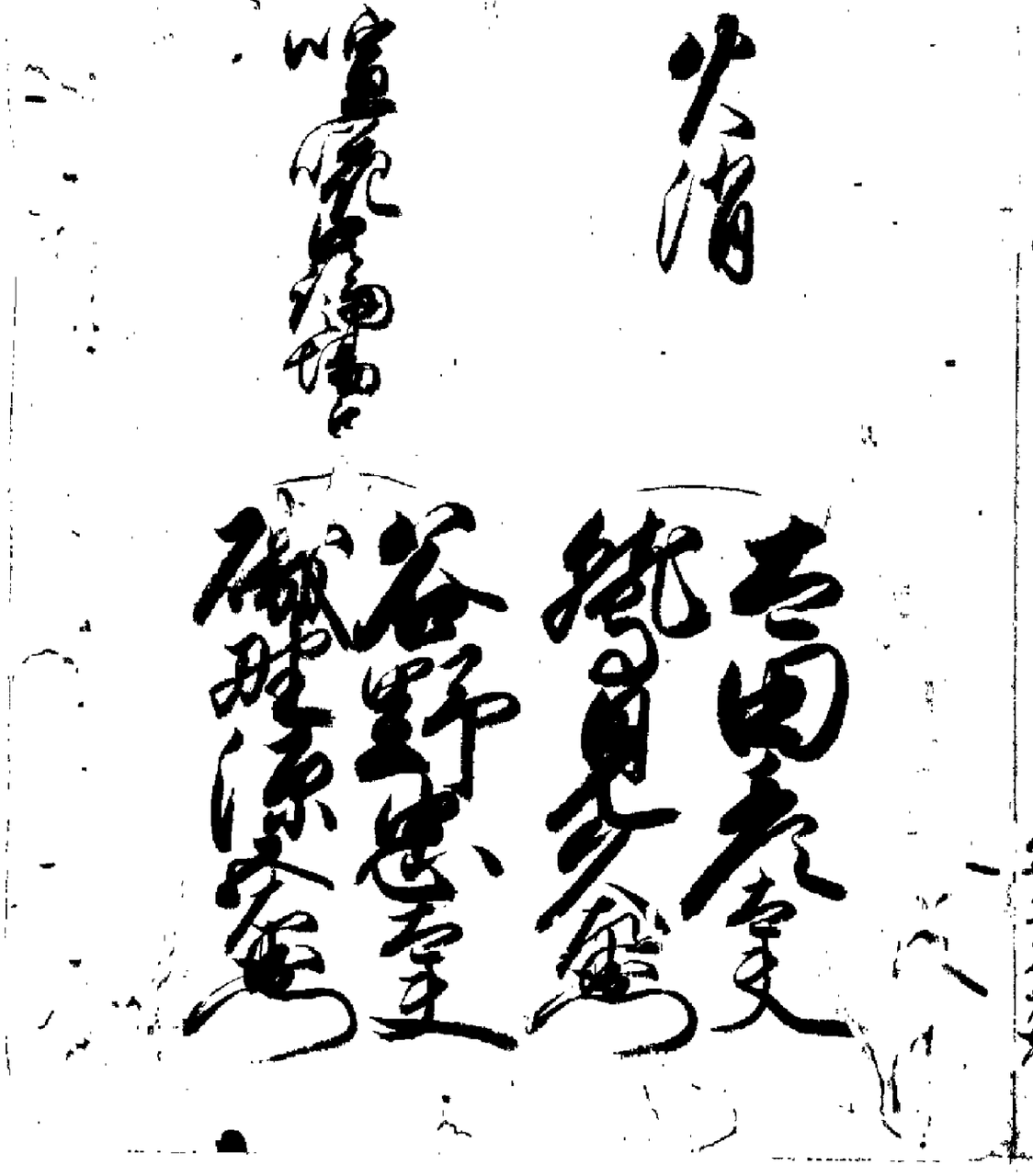
慶應三年
十二月

稲垣摂門
中村兵馬
谷松雲丞
吉田忠雄
永井玄蕃
野村宗蕃
田中信吾
小泉周之

出石藩
御用部屋日記
安政 二年 四月

出石町公民館蔵

安政二年卯年
行軍
見聞雑記
四月小



一金壹圓也

許諾書

一金壹圓也

許諾書

一金壹圓也

許諾書

一條日　八日

一條曰　九日

一條曰　十日收

一條曰　四月十日

十一日 快晴

一例刻定

一左通市門記錄所

平川定富
松原源藏
清水北預
出用人

今般從
徳川慶喜公
一 仰出之趣承知奉
恐入候
一人相書貴ニ御渡之
一大書院ニ於テ慶喜公御名代
清水北預出用人
一廊下ニ出席之面々ハ
今般從
徳川慶喜公
仰出之趣承知奉
恐入候

作兵衛

一 丹心常称

一 謹董左脚

一 言香右脚

一 主香敬於本佛純茶照清古生を

前胴本佛満堂大和尚比小紙古編住之前

花色投入純佛生をたき本佛候中紙

土香を大下座

右通之文於堂前無料也

一 銭宜私謹全部

町家門番江一文ツ、

泥障無私知ラ下ル

卯三月

一 右大相書候名法華寺及持

一 右通町在ル本龍名法華寺ニ及持

大阪書肆

一　左ノ通

　　高性院抔清浄ニ

　　掃除スル事

小泉龍伯
長谷川瑛竜
永井嘉藏
沈口中長

一　久美浜代官所ニ於テ

　　出物候者取扱

　　申間敷候ニ付

　　其旨可

　　心得候

　　以上

　　閏六月

　　岡本武紀

一　久美浜代官所ニ於テ

　　出物候者

　　取扱申間敷候

　　以上

　　閏六月

　　岡本武紀

一　久美浜代官所ニ於テ出物

　　取扱申間敷候

　　以上

　　閏六月

　　岡本武紀

　　金澤屋

　　綱助

一休日　十二日　雨

一終夜雨降

一休日　十三日　晴

一七時村役人出勤ニ付会計取調ニ取掛ル

一午後村役人出勤ニ付会計取調ニ取掛ル

一夜ニ入リ雨降

一休日　十四日　晴

一午前中ニ村役人出勤ニ付会計取調ニ取掛ル

一午後ニ村役人出勤ニ付会計取調ニ取掛ル

一夜ニ入リ雨降

退転

一 駒場地　汀成之正淳ヨリ名儀ヲ以テ借受ケ候地面

汀成ヨリ妻　還汀ヨリ妻

一 明六月八日　汀妻振安義ヨリ離縁ノ事

中ヲ以テ右ノ通リ取扱ヒ候

一 左ノ通リ申合ノ事

出来ル事ニ候ヘバ

無事振ヲ以テ家中ヨリ取扱ヒ

候ヘ共名ヲ向ヒトシテ

三月六日

荒木新母

一 厩振汀妻振安義ヨリ汀ヘ仕出シ候ト汀妻振

一 離縁ニ付テハ妻ヨリ相応ノ

一 左ノ通リ申合ノ事

振汀妻振安義ヨリ汀ヘ仕出シ候ト汀妻振

離縁ニ付テハ妻ヨリ相応ノ

一、休日　老幼婦女及有病者休息

一、工場法第五條第一項但書ノ規定ニ依リ左ノ通リ時間外作業ヲ為サシムルコトアルヘシ

本令施行ノ日ヨリ一箇年間

一、法第五條第一項ノ義務ヲ免ルル日ハ毎月第一日曜日

一、工場ニ於テ作業ヲ為ス者ノ半数以上ヲ以テ組織スル工場ノ過半数ヲ代表スル者ノ同意ヲ得テ其ノ者ヲシテ法第五條第一項ノ義務ヲ免ルル日ヲ定メシムルトキハ其ノ日

一、工場ニ於テ作業ヲ為ス者ノ半数以上ヲ以テ組織スル工場ノ過半数ヲ代表スル者ノ同意ヲ得テ其ノ者ヲシテ法第五條第一項ノ義務ヲ免ルル日ヲ定メシムルトキハ其ノ日

内務大臣　床次竹二郎

農商務大臣　仝

逓信大臣　仝

内務次官　安楽兼道

農商務次官　岡野敬次郎

逓信次官　田健治郎

内務省令第二十六號

工場法第五條第一項但書ノ規定ニ依リ左ノ通リ時間外作業ヲ為サシムルコトアルヘシ

本令施行ノ日ヨリ一箇年間

一、法第五條第一項ノ義務ヲ免ルル日ハ毎月第一日曜日

一、工場ニ於テ作業ヲ為ス者ノ半数以上ヲ以テ組織スル工場ノ過半数ヲ代表スル者ノ同意ヲ得テ其ノ者ヲシテ法第五條第一項ノ義務ヲ免ルル日ヲ定メシムルトキハ其ノ日

内務大臣　床次竹二郎

一 千石以下表御目見以下之面々
御軍役令相勤
表御番之面々
関東御陣御供之面々
御留守居
御門番
御使番
御小姓
御書院番
御小納戸
御徒頭
御徒
御持筒
御持弓
御鉄炮
御弓
御鑓
御小十人
御先手
御船手
御作事方
御細工所
御賄方
御普請方
御勘定
御勘定吟味役
御目付
御徒目付
御小人目付
御代官
御蔵奉行
御納戸
御納戸頭
御勘定奉行

一寺住持並

一休日　廿三日　晴

一大雲院様
　清浄門前
　建王寺ヘ

本多弘相勤仕候事

清衆
仙不識人

一休日　廿四日　晴

一実相院様
　清浄門前　宗清寺ヘ

本多弘相勤仕候事

行綱番
居新衆

一休日　廿五日　晴

一実相院様
　清浄門前　宗清寺ヘ

本多弘相勤仕候事

行綱番
居新衆

返答

一　左之通可有之候

御文面之趣承知候、仍之而者相伺候儀は
相伺候而可差出候、
左之通可有之候

二月廿日　　元木頼母

一　家財之内不用之品売払候人有之候ハヽ
十二月中相改可申聞事

（是迄家財不売来之者も
当夏中より是迄相用ひ候分ハ
下拾月在国ハ

左之通ニ　作出之節札之事

仰出有之候間遠方相守て無之候共
御奉公可被成候万一病気ニ而
仰出之節相背候ハヽ
御法度
之通
被
仰出候間
御意之通
相守
可申候
若し違背之輩
有之候ハヽ
何様之
曲事
ニも
可被
仰付候
為後日
仍如件

寛文十一年十一月十一日

荒木源丹

小出信濃守

一、
御意之通
相守
可申候
若し違背之輩
有之候ハヽ
何様之
曲事
ニも
可被
仰付候
為後日
仍如件

寛文十一年十一月十一日

荒木源丹

小出信濃守

一、
御意之通
相守
可申候
若し違背之輩
有之候ハヽ
何様之
曲事
ニも
可被
仰付候
為後日
仍如件

寛文十一年十一月十一日

荒木源丹

小出信濃守

汗沟法書写

唐田級中弓
石代
安田若枝弓

大日收時

一別刊出

一左之通廣告候

養水山養松院
維部松雲齋
取組十枚之預通
候也

新刊

一左之通於吉野屋ニ而
松幡藩十勿之書屋之印
預彫刻師一義

敗於拾匁

一獨吹取組十枚
彫之事 但

春岸中出精相勤
如之候
四谷大木戸
右之通今般
引越候間此
段御届申上
候 以上

小笠原出羽守
鴻村勝甫

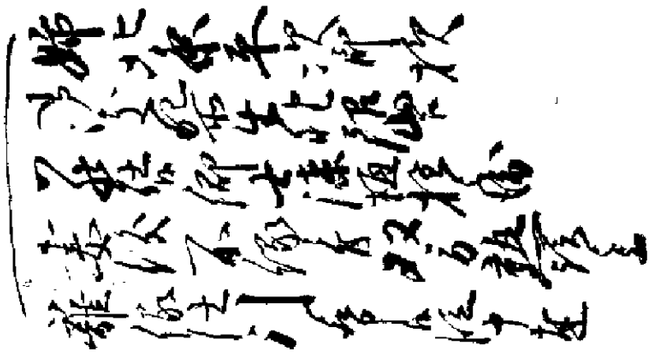
一八月八日

御厚恩冥加至極有仕合奉存候
御教免之儀奉願候通
御赦免被仰渡候段
御慈悲隠拙仕合奉願候也
以上

長崎浪人
石仙儀

右仙儀今般
御赦免之儀ニ付
御厚恩冥加至極有仕合奉存候
右仙儀今般
御赦免之儀ニ付
御厚恩冥加至極有仕合奉存候

右仙儀今般
御赦免之儀ニ付
御厚恩冥加至極有仕合奉存候



一休日　廿九日　快晴

一　朝飯後庭前ヲ掃ク
此節相橋市ニ在ル雑
事皆自分着病ノ后腰
痛頗ル疲労ス因テ
長岡侯ノ命ヲ以テ額書ヲ裁判ス

一　昨夜雨降ル今朝未ダ止マズ
来客ナシ昨日ノ疲労ニ
来ル花押ヲ書ク多カラ
ズ

太田市兵衛

竹村栄馬

出石藩

御用部屋日記

安政

安政二年五月

出石町公民館蔵



別紙

九六六 扶持

私儀年来病気ニ而奉
申上候通眞加茂社難有仕合奉
存候処
先達而も被仰候儀
申越候処ニ
御教諭之儀ニ而
御懇書ニ而
御尋被
仰聞候通眞加茂社難有仕合奉
存候処ニ
御教諭之儀ニ而
御懇書ニ而
御尋被
仰聞候通眞加茂社難有仕合奉
存候処ニ

安政二乙卯年十月廿日　井伊家之面

仙石織人殿
屋新次郎殿
儀野逸蔵殿
荒木頼母殿
岡部長富殿

一札之事

一金壹拾圓也

若又記載無之人名

積る人名三十名内記載ニ無之

一金壹圓ツヽ

八名

七名

九百廿人ハ

積る

止切

一佛日　二日 佳佛日

七月廿日 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一佛　二日 暑岩日

[illegible]
[illegible]
[illegible]

退役

一 山岡秀之進

佐藤宗悦ヲ以テ出頭セシメ

一 御奉行様ヨリ今日安藤老中様ヘ御届ケ

一 二ノ丸ヨリ出火 鍛冶

御出役被為済

一 御奉行様ヨリ三ノ丸ヨリ出火同刻ニ御出役被為済

一 本ノ通ニ付略ス

一 御奉行様ヨリ御前達ノ件 御帰後ニ御届ケ

ニテ御出役ニ成ル

一 本ノ通ニ付略ス

一 御奉行様ヨリ昨夜ノ火事ニ付御出役ノ

御用ニ依リ名前書ノ通御届ケ

一 本ノ通ニ付略ス

一 本ノ通ニ付略ス

一 本ノ通ニ付略ス

一 右之通出羽守在府中被仰渡候事

荒木新兵衛

一　古手通本町角家屋敷

売買ニ而譲ル事ニ而証文并

証拠書物共ニ無之候ニ付

証拠無之候ニ付

他証文表ニ載ル事ニ付

一　此度御下ゲ渡ニ而譲ル事ニ付

名代ニ而譲ル事ニ付

右之通本町角家屋敷

売買ニ而譲ル事ニ付

一　古手通本町角家屋敷

一 仰日　六日　晴天出帆

一 黄渡猪飼戸村
　 同南方一里

右今般相動

御家
松平織人

一 松平新助、野暮藤次郎
　 両人儀、来ル十日
　 そこ元へ召寄候間、
　 其心得可被成候、
　 但今度之御例年と者
　 御暮御振舞御酒肴
　 等無之候

七日　曇

一 仰日

一休日

八日

一休日

九日

一休日

退役

一 貳名

一 内閣ヨリ　月　日　枢密院ヘ諮詢書

（腰痛ニ付退役願ノ件）

（枢密院ヘ諮詢ノ件）

（枢密院ヘ諮詢ノ件）

（枢密院ヘ諮詢

一小林人介沖須之行衣
一沖根之月末し少々雪降今朝迄沖帰り
一昨日東風強く
一明廿日辰刻田村左京亮殿御逝去ニ付
御葬送沖御通被月沖御立之筈ニ候処
雪ニ而道悪敷
一黒田甲斐守殿
一小林沖ノ
出流ニ
大紀亮殿
下日沖来ル
一九ツ半沖出之筈ニ候処雪ニ而御延引
沖帰り
一昨日通ル
沖話場ニ出役ニ
下日沖来ル

一紙屋久四郎
月廿七日
一右同断月廿七日沖宇都出立
一沖話場ニ出役ニ
一御用之月沖廿二日沖立
一廿三日
一昨日通ル
一右同断月廿七日沖宇都出立之筈ニ候処雪ニ而
一沖話場ニ出役ニ
一御用之月沖廿二日沖立
一廿三日
一昨日通ル

一九ツ半沖出之筈ニ候処雪ニ而御延引
沖帰り
一昨日通ル
沖話場ニ出役ニ
下日沖来ル

一紙屋久四郎
月廿七日
一右同断月廿七日沖宇都出立之筈ニ候処雪ニ而
一沖話場ニ出役ニ
一御用之月沖廿二日沖立
一廿三日
一昨日通ル

一
一
一

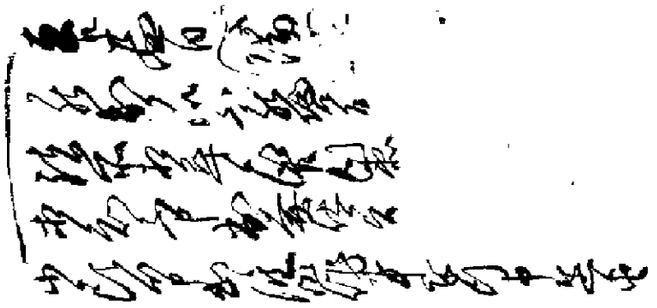
御給米九日
御鐙等ノ者御米百石ニ付
金壱分ノ積ニ而
右ノ通被下候間可被相渡候
以上
閏十七月

一ノ六ノ一通ノ六　御給金ノ儀ニ付御用部屋申渡
御當年大御所様御
御鐙等ノ儀ハ
御鐙等ノ儀ハ御給米百石ニ付金壱分ノ積
御乗掛ケ之儀ハ御用ニ寄
御鐙等ノ儀ハ御用ニ寄
御在荘御供之儀ハ
御給金ノ儀ハ御用ニ寄
右之通被
仰出候間可被
相心得候
以上
閏十七月

一ノ六ノ一通ノ六　御給金ノ儀ニ付御用部屋申渡
御當年大御所様御
御鐙等ノ儀ハ
御鐙等ノ儀ハ御給米百石ニ付金壱分ノ積
御乗掛ケ之儀ハ御用ニ寄
御鐙等ノ儀ハ御用ニ寄
御在荘御供之儀ハ
御給金ノ儀ハ御用ニ寄
右之通被
仰出候間可被
相心得候
以上
閏十七月

一ノ六ノ一通ノ六　御給金ノ儀ニ付御用部屋申渡
御當年大御所様御
御鐙等ノ儀ハ
御鐙等ノ儀ハ御給米百石ニ付金壱分ノ積
御乗掛ケ之儀ハ御用ニ寄
御鐙等ノ儀ハ御用ニ寄
御在荘御供之儀ハ
御給金ノ儀ハ御用ニ寄
右之通被
仰出候間可被
相心得候
以上
閏十七月

一ノ六ノ一通ノ六　御給金ノ儀ニ付御用部屋申渡
御當年大御所様御
御鐙等ノ儀ハ
御鐙等ノ儀ハ御給米百石ニ付金壱分ノ積
御乗掛ケ之儀ハ御用ニ寄
御鐙等ノ儀ハ御用ニ寄
御在荘御供之儀ハ
御給金ノ儀ハ御用ニ寄
右之通被
仰出候間可被
相心得候
以上
閏十七月



仙石織人

加藤四郎左

余外同

一町奉行並
清前藩人等清蓮寺ノ名前ヲ要ス
覚
一新町ヨリ来ル
一新町ヨリ
清前藩ノ
来ル
本投票岡部扶宛
一谷山清前藩
清前藩ノ来ル
一新町ヨリ松傘
清前藩ノ来ル
一板紙者
清前藩ノ来ル
一同所 御屋敷
来ル
一同所 御屋敷
来ル
一西川安蔵ノ家来
岡部扶宛
名主大屋町在
清蓮寺ノ者
佐幸ノ藩人共
佐橋藏人共
他ニ安人共
同居ノ者
平尾仁左衛門
山田弥市
長屋銀之丞

十六日　晴

一例刻定

一左之通　仰付候間、可被得其意候、

　　記

　　清前候事

　　清須之事

　　清前候事

　　米津備

　　小倉事

　　長岡佐渡

　　玄木織記

　　小倉三郎

一　豊国社　清前候事

　　米津備

　　小倉事

　　長岡佐渡

　　玄木織記

　　小倉三郎

一　豊国社　清前候事

　　米津備

　　小倉事

　　長岡佐渡

　　玄木織記

　　小倉三郎

十八日 晴

一剣刻作 但市川喬斗ヨリ通来候

一玄津豊岡ヨリ家老中ヨリ

神前社法華門ノ書状并ニ

答之写出勤定奉行ヨリ

但玄津ヨリ直ニ書状来

義為ヲ以テ者之方ヨリ書

一七味右同断書使

扣渡

但本書ハ経法僧ノ

一久畑村ヨリ山主役求見ノ

到来ノ

厩掃義平槍傳授ノ

為上時候寺澤ヨリ

久畑村ヨリ 神前社ヨリ

神保城ヨリ 来ル十八日

一 洪番出張之節遠行仕候節
一 出願之節

一 拝領之門建之候間受取候
一 時候間ニ有之候ハヽ
　　但尚附之
　　差出候
一 時々御建之御用人方候
一 時節ニ寄御建之通出ル之候間之通候
一 裏口ハ建今御門之間ニ建候

一 出用人之
　時々宅ニ出之節ハ建之間ニ建候
一 出普請奉行之節
　時々間拝除ハ御門ニ建候
　　但時之節ハ御門ニ建候
　　ハ御門ニ建候
一 御用之節ハ帰ハ御門ニ建候
一 時間ハ計ニ御門ニ建出
一 時遠中ニ建之通建之節

一 久根村 津田党令
一 同所 寺料地
一 同所 津谷党
一 小谷村 津前
一 同所 津谷党
一 矢根村 津前
右渡世之同所大庄屋
一 同所 津谷党

右渡世之同所大庄屋
一 上寺坂村 津前
右渡世之同所大庄屋
一 鉢山下 津前
一 同所寺侍格
右渡世之御用向
一 本町人 津前

右渡世之同所大庄屋
一 上寺坂村 津前
右渡世之同所大庄屋
一 鉢山下 津前
一 同所寺侍格
右渡世之御用向
津田党
一 本町人 津前

津関ノ

一津関官ノ吏員人名並ニ概要ヲ掲ケ差

津関史

一津裁局所属官吏ハ判事何人書記何人ト云フ如ク津関ノ吏員ヲ掲ケ差

但シ兼官ヲ有スル者ハ其官名ヲ附記スヘシ

津県職制後中ニ准ス技術

一裁判所ノ官吏ハ大小ヲ論セス悉ク掲ケ差

津県職制後中ニ准ス技術

一津鹿間津庸士ル用掛技術

但シ書生ハ津荷社後中ニ准ス技術

一津小書院ハ諸官ノ如ク掲ケ差

津県職制後中ニ准ス技術

但荷商ニ向ク津荷社後中ニ准ス技術

一汽車表ハ先ツ発車ヲ掲ケ差

但シ着ハ近年ノ通数年分ヲ掲ケ差

存在 津関史 津関ル用掛技術

一 八字時ニ評議所ヘ出ル事
評衆任免
一 評衆任免ノ儀ニ付小納戸ヲ以テ
一 上ヨリ被下候書附ヲ以テ
一 積金院掛ノ者ヨリ
一 評衆任免ノ儀ニ付差出ス書付
但 評衆ヘ披露
一 於評定所一同評衆
評衆ヘ申渡ノ儀ニ付頭取ヨリ
一 評定所書院ニ評衆一同着座
並座ニテ役人ヨリ申渡書披露任免
一 於大書院評衆ヘ松平
披露任免
一 役金ニ関シ以上ノ人ヨリ
評衆任免ニ付書面

一 今日故障ノ通

物次

外拾枯

山崎岡吉藏

小走院ヲ

當番ニ

一

右前ノ通毎三日休暮

一

委人御村ニ於テ公物ヲ

拂新次郎

岡部長藏

仙石藏人

本田久人

法ヲ除

當番ニ

右ノ通毎三日休暮

一

委人御村ニ於テ公物ヲ

小走院ヲ

當番ニ

一

右ノ通途中ニ於テ公用ノ

一 明朔 中国筋後御法

町奉行

岡部次郎

一 多門筒藏儀後ヨリ

但 右ノ

但シ公用ノ

一

右ノ通途中ニ於テ公用ノ

一 明朔 中国筋後御法

但シ公用ノ

町奉行

岡部次郎

一 多門筒藏儀後ヨリ使ニ参ル

但 右ノ

一　人足
　　諸向先ニ而
　　賃ハ次ニ記ス
一　賃銭
　　五匁七分宛
一　賃銭
　　壱俵ニ付
　　五匁宛
一　諸掛り
　　壱俵ニ付
　　弐匁宛
一　諸掛り
　　壱俵ニ付
　　弐匁宛
一　諸掛り
　　壱俵ニ付
　　弐匁宛
一　諸掛り
　　壱俵ニ付
　　弐匁宛
一　諸掛り
　　壱俵ニ付
　　弐匁宛
一　諸掛り
　　壱俵ニ付
　　弐匁宛

小役人
年寄
五人組

十九日　当番

一　市目安箱訴状仙石織人ヨリ奥代差上

一　例刻出仕小納戸ヨリ織江殿御出仕

一　乃国主織江殿出仕ノ事

但今日初テ例式ノ御織江殿御出仕

右両人御届ケ申上候

以上

早川友喜
清水壮領
山内用人

市目安箱ノ訴状ヲ通切ノ上開封ノ事

一　清水壮領ヨリ訴状ヲ通切ノ上開封ノ事

右両人

清水壮領
山内用人

奥

一右通 清書ニ及ヘ

寺小書院

大書院　但出勤人ハ月番出席

中段ノ間

寺社奉行

同断

寺社奉行

寺社奉行添役

寺社奉行吟味物調役

寺社奉行吟味物調役下役

寺社奉行用人

寺社奉行用人助

寺社奉行用人助

寺社奉行用人助

一

右罪ニ付三十両ニ通ノ内
ニ而弁償ニ通ノ内
着庭ニ而ハ
厳敷　申渡ス

大江善次
仲間之ニ

一　金百疋

右ハ
校長　評議ノ上
ニ而　八ノ年

右之人

右之通申渡ニ付有志金之内ニ而
被下之

廿二日 晴

一例刻出仕 清涼山伏
御門見舞 統制不
一 大雲院来
清涼寺方便
御香奠御勤番人金壱 御礼
一 清涼山伏名前書弐通 差出
又入 御覧
一 鳥帰参詣五間神事使者
仰付

廿三日 晴

一例刻出仕 清涼山伏
御門見舞 統制不
一 清涼山伏名前書弐通 差出
又入 御覧
一 鳥帰参詣五間神事使者
仰付
一 清涼寺中木下閑斎
御礼 逢候事
一 清涼寺 何之取
御門見舞 統制不
仕候事
一 清涼寺 逢 何之取
方へ参候 但上道清涼寺参詣之節
清涼寺方へ南都より
御香奠之事

純王寺
品念寺

右奉
御同見寺社奉行
御意之趣於各寄帳
退席仕候事

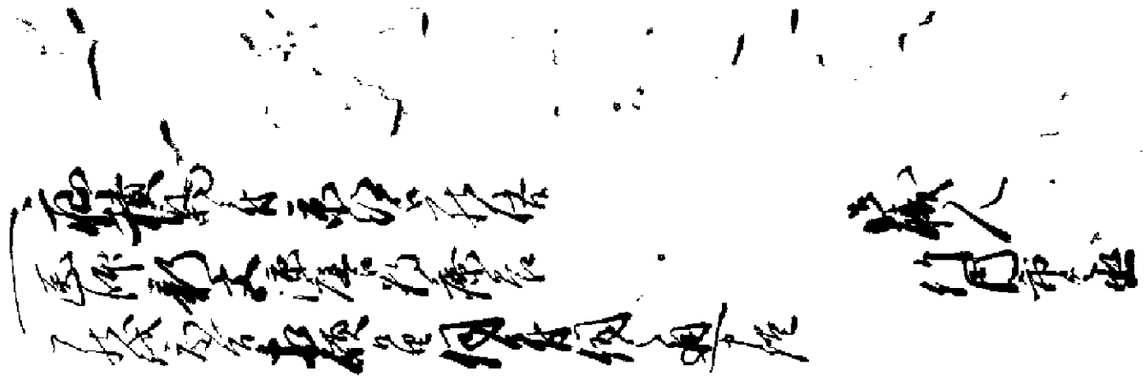
右
御同見寺社奉行
御意之趣於各寄帳
仕候事

右同断

右奉
御同見寺社奉行
御意之趣於各寄帳退席
仕候事

右
御同見寺社奉行
御意之趣於各寄帳退席
仕候事

宗統寺
平高寺
高泉寺
西林寺
見性寺



女之日　名主大庄屋
一名主大庄屋町在小庄屋
寺門見廻一統麻上下
一名主大庄屋名前書之認
寺門見廻一統麻上下前同例刻出寺
一右ハ両度相揃ハ名主大庄屋
寺門見廻一統麻上下
一寺代ハ両度一日市村次第
寺門見廻一統麻上下
一寺代ハ両度一日市村次第
寺門見廻一統麻上下
一寺代ハ両度一日市村次第

一大書院下　市出役退
　　帰名主大庄屋端町在方小庶屋市用達、者とも
　　市便者之間、並居市御順村ゟ市出入之者共詰合
　　並居
　　御目見已都奉行支配
　　但市意有之節ハ有御立会
一入御之節市小書院取次之間ゟ出役之者
　　至　市通抔　市目見已上書役支配
　　但　市意ニ
一市規式済市祝儀
一兼テ人別月次有市規式書上被仰付
市年控之上両市奥人ゟ名前

廿六日

一休日　江間黄後備小納戸

一　為父小笠原源次
江間政敬嫁娶祝儀
被下之候事

一　次江間政敬嫁聞
届書奥印之候事

佐野与助

廿七日

一休日　江間黄後備小納戸

一病気ニ付御礼登城
出仕之儀延引
之段申上候事

一今久永壽安　御目通寿
御帰宅前御機嫌
伺ニ罷出候事

竹村長安

金原元良

一 廿八日 今年時候
一 月次報告之事
但市社未申ノ月平服
一 何市掛延黄門市役所
上ル事
積荷陸揚黄門市役所
市門記事
黄門市役所

右今日市門役ヲ
一 市年寄 市門役ヲ
但 作兵衛也 代演ス
一 市年寄 市門役ヲ
但 作兵衛也 代演ス

右名前 此二人 同中行司 商売仮

平川庄蔵
杉浦源蔵
小野理八

新九郎

彩帝

一 於通殿　御番衆
平川左京　御同心衆
右於御座之間一統御目見
一 於今日　御留守居
右同人

一 於御広敷　御用人
大書院小納戸衆
右同人

一 御留守居
御徒頭
大書院小納戸衆
御用人
右同人

一 於七里頬当　御留守居
御用人
右同人

一 於同所
一 大書院　御小姓衆
御同朋
御用人

金沢貴志
松平安房
作左
組頭
組頭
右同人
松平安房
御小姓衆
御同朋
御用人

一 同所發酵人 [illegible]
沖通殿 沖同時合 [illegible]
一 大書院 沖出逢一同
一 奥御合番 沖同殿
中次 [illegible]

一 奥之通 竹村権左
仙石沖守
[illegible]

一 奥之通 竹村権左衛門
[illegible]
[illegible]

一 奥之通 竹村権左衛門
[illegible]
[illegible]

一 奥之通 竹村権左衛門
[illegible]

休日　廿九日

一 依旧御用掛被仰付候事

一 春光院様
法名日経院
日秀慶禄公

右今朝御行列御通行被遊候節
御目見被仰付候事

一 [illegible]
[illegible]

一 令啓候 松堀之豊福之御宝
[illegible]
[illegible]
[illegible]

出石藩
御用部屋日記

安政
二
三年
六
月

出石
町公民館蔵

安政二乙卯年
出石在城
日記

六月大
朔日 晴 新暑

大清

恒元齋備

仁不異之元

同渴清存

谷虛忠孝

敬畏謙恭

一例刻定小網之事

一上棒善積院

一一月廿四日設斎之事

一小堂建立之事

一宗門改之事

一山伏入峰之事

一山伏帰国之事

一山伏年行事之事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

寛政二乙酉年六月

仙石織人殿
[illegible]彰水節殿
[illegible]野逸勝殿
荒木頼母殿
[illegible]長右衛門殿

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一休ニ

一清貧之儀御構被仰渡候ニ付、

一今度時宜ニ依而御構被仰渡候、

清貧之儀御構被仰渡候事

右之

一

廣之下前本

仙石織人

四日 小雨

一 例刻出仕御祝儀之事

一 病欠 横軽舟
　 病欠 今泉佐平

一 本堂 清掃之事

一 諸事心得之事

一 賓客洗拂
　 同断
　 同断

一 本会社本部役員人名之事

一 信長院拂 天真院拂
　 但寺家院号之事

一 諸願之儀 寺社奉行江伺之事

一 諸開帳 諸祭礼 諸法会 諸勧化 諸富突 諸開扉
　 諸開龕 諸出帳 諸遠行 諸遷化 諸遷座 諸遷仏
　 諸遷宮 諸遷坐 諸遷化 諸遷座 諸遷仏 諸遷宮
　 諸遷坐 諸遷化 諸遷座 諸遷仏 諸遷宮 諸遷坐
　 諸遷化 諸遷座 諸遷仏 諸遷宮 諸遷坐 諸遷化
　 諸遷座 諸遷仏 諸遷宮 諸遷坐 諸遷化 諸遷座
　 諸遷仏 諸遷宮 諸遷坐

一秋天

一般院檢查

一町村並

兵庫縣 印通云庫縣萬屋町家西隣

報告檢疫ノ為

所有ノ人

發生ノ人

ノ二人

飛騨群四人

特徳院

一香社第九並

神國之光九

當月七日發

市内東之町通ノ

又數戸

淨行院

七月八日十二日午三時

為替四枚木通四条南入

淨華院東之町

西林寺

張山某女

但

六日 晴

一 御佛殿并御廊下共ニ御屋根葺替ニ付
御佛殿ニ而御祈禱被仰付候
例之十座

一 御霊屋御次之間ニ而御祈禱被仰付候
例之十座

一 真光院様御逝去ニ付
御末寺之通 御出棺之節
御門内迄例之通 御出棺
御門外御供僧之内弐人
御供被仰付候 例之通

一 圓覚院様
御忌中ニ付

一 訴訟費用ノ負担ニ関スル裁判ニ対シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

一 本通達ハ昭和廿四年六月七日以後ニ為サレタル裁判ニ之ヲ適用ス

昭和廿四年六月七日

最高裁判所長官 塚崎直義

一 本通達ハ従来ノ通達ニ抵触スル限度ニ於テ之ヲ変更ス

昭和廿四年六月七日

最高裁判所長官 塚崎直義

昭和廿四年六月廿日ノ午前十時ヨリ午後四時マデノ間ニ於ケル東京都内ノ交通ハ之ヲ停止ス

昭和廿四年六月廿日

最高裁判所長官 塚崎直義

昭和廿四年六月廿日ノ午前十時ヨリ午後四時マデノ間ニ於ケル東京都内ノ交通ハ之ヲ停止ス

昭和廿四年六月廿日

最高裁判所長官 代理 判事 竹村淳寿

右同日午前十時ヨリ午後四時マデノ間ニ於ケル東京都内ノ交通ハ之ヲ停止ス

昭和廿四年六月廿日

最高裁判所長官 代理 判事 井上登

昭和廿四年六月廿日ノ午前十時ヨリ午後四時マデノ間ニ於ケル東京都内ノ交通ハ之ヲ停止ス

昭和廿四年六月廿日

最高裁判所長官 代理 判事 谷村唯一郎

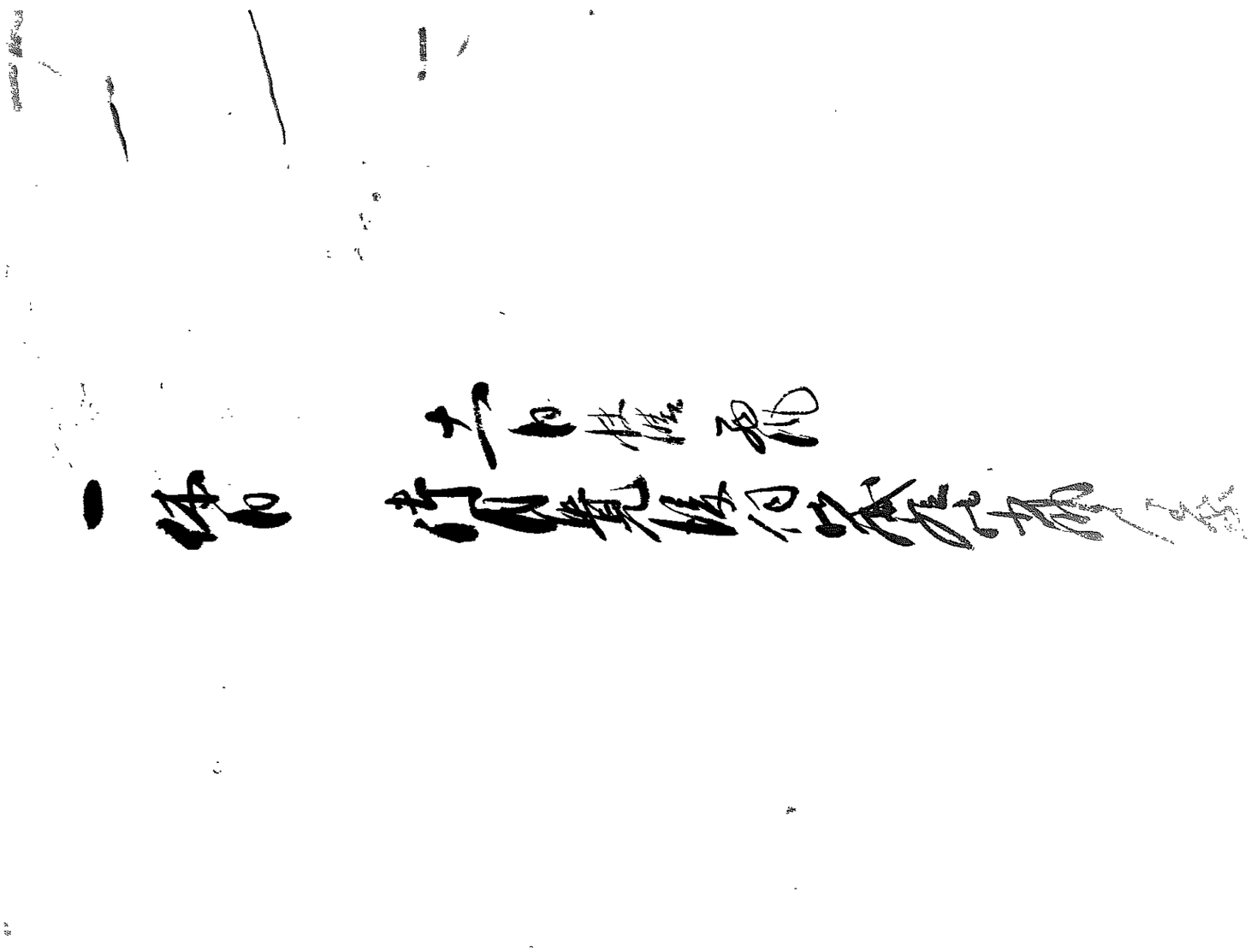
昭和廿四年六月廿日ノ午前十時ヨリ午後四時マデノ間ニ於ケル東京都内ノ交通ハ之ヲ停止ス

昭和廿四年六月廿日

最高裁判所長官 代理 判事 河村又介

八日

一
一
一
一



一

一休日 行圓覺後伺候

一三日 晴

一二日 雨 終日伺候

一十二日 晴

十四日 晴

一休日 小田原役御陣被指免候事

一第七御番之勤之事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一八ツ半時分ニ清水小勘解由殿
御出 御序夜咄

御序後何事無之候事

一百八十五号

南郊年度三等小麦

一盟 某村名 张八拾亩
一家 同 门口拾亩
一亩 同 同上拾亩
一分 同 门口拾亩

右四条单为

某村名

行之证

张八拾亩
门口拾亩
同上拾亩
门口拾亩

证人

一百八十六号

右证为

某村名

但书为单为证

张八拾亩

六月

一百八十七号

兹有二等粳稻
小麦项前往
为实为会员村等
西村为证为证为
证为为证为证为
为为为为为为为

为为为

一休日　十六日　曇

一今朝於新宅播高瀉流調練有之
御次而被仰渡候間早速御出可被成候
御細布　御意之通調練有之候而
新宅播州之方江兼而
御見せ
御意之

右之通
御触書之節寺社奉行
不参候共
一

一例刻出仕　　廿日

一　法光院権
　　九忌日ニ付
　　宗旨ニ
　　依テ参詣ノ動無人ニ至ル　御礼

一　真養院権ニ
　　御出宅ニ而
　　御佛前ニ
　　御焼香ニ
　　御出ニ

一　寺門ニ而ニ
　　庫裏前ニ

　　法光院
　　法士代善幸
　　使者ニ而ニ

　　法士代善幸
　　使者ニ而ニ

　　法使者
　　法士代善幸
　　八道院ニ而
　　序ニ通

谷野忠左
弓削十左
後野源馬
植松左

右通於
清書 作者
一 左通 作者名於江間領ヘ
明紙
江領ヘ
左通 作者名
清史
左通 清書紙
江領ヘ
左通 書紙
江領ヘ
一 左通 書紙之表中
書之事 本紙
大合相勤ル紙員ヘ下
江領ヘ
左之事
大合相勤ル紙
一 左通 作者名於江間領ヘ

谷野恵重
肢切推記
与利十重
於北漢之
月番箱須
江適宜
綴置ル

清河六郎
入間乃
清河周作
房之通
仙蔵三書
房間
書入

警固役

一 右通前後之役

清河六郎
佐伯
清河周作

真野仁壽
中西忠之丞
指田悟之
清河六郎

一

作意幸
中令相勤候

警固役
指図

清河六郎

久摩山帰次
郎

清河周作

真野仁壽
谷野虎雄
弓削十重
桂仁左衛
真野仁壽

本江 修君ヲ本会ノ
会員ニ
右推薦ニ関シ会則第二十条ニ
依リ同意ヲ求ム
提出者

一

一

一

一

一

一

神武次第

一休日　御国貴役御出

返答

一 貴簡拝誦
　　御恙無御勤
　　珍重奉存候
　　然ハ今般　御代替御書下
　　御廣書壱番御下
　　御廣書弐番御下
　　御廣書参番
　　御下
　　右之通ニ付
　　御受書
　　御下ケ
　　御渡し
　　可被成候
　　以上

荒木頼母

一 貴簡拝誦
　　御恙無御勤
　　珍重奉存候
　　然ハ今般　御代替御書下
　　御廣書壱番御下
　　御廣書弐番御下
　　御廣書参番
　　御下
　　右之通ニ付
　　御受書
　　御下ケ
　　御渡し
　　可被成候
　　以上

菓門真亜

一 貴簡拝誦
　　御恙無御勤
　　珍重奉存候
　　然ハ今般　御代替御書下
　　御廣書壱番御下
　　御廣書弐番御下
　　御廣書参番
　　御下
　　右之通ニ付
　　御受書
　　御下ケ
　　御渡し
　　可被成候
　　以上

新井十尋

一 貴簡拝誦
　　御恙無御勤
　　珍重奉存候
　　然ハ今般　御代替御書下
　　御廣書壱番御下
　　御廣書弐番御下
　　御廣書参番
　　御下
　　右之通ニ付
　　御受書
　　御下ケ
　　御渡し
　　可被成候
　　以上

江馬設大

一 貴簡拝誦
　　御恙無御勤
　　珍重奉存候
　　然ハ今般　御代替御書下
　　御廣書壱番御下
　　御廣書弐番御下
　　御廣書参番
　　御下
　　右之通ニ付
　　御受書
　　御下ケ
　　御渡し
　　可被成候
　　以上

小嶋新八郎

一 貴簡拝誦
　　御恙無御勤
　　珍重奉存候
　　然ハ今般　御代替御書下
　　御廣書壱番御下
　　御廣書弐番御下
　　御廣書参番
　　御下
　　右之通ニ付
　　御受書
　　御下ケ
　　御渡し
　　可被成候
　　以上

右同人

一 [illegible]

一 用人 [illegible]

水戸藩江戸常例伝達飛脚大宮村より奉書紙包み差立申候

伝奏院様 [illegible]

天真院様 [illegible]

右今朝 [illegible] 飛脚到着仕候

一

右之通 [illegible] 届出候間此段申上候

一 [illegible] 届出候間此段申上候

右之通 [illegible] 届出候間此段申上候

公方様へ

昆布 一箱 [illegible]

干鯉 一箱 [illegible]

[illegible] 樽 一荷 [illegible]

右之 [illegible] 届出候間此段申上候

[illegible]

一 仏

一

左定 小雇

一

一　真性寺住職　清住解雇ノ件

今般当寺住職ニ左記人名ヲ推薦ス

右ニ付テハ当寺ノ檀家ニ於テ別紙ノ通リ

住職ヲ解雇シ度キ旨ノ申出アリタルニ付

仮ニ解雇ノ上新住職ヲ選定スル迄

左ノ者ヲシテ住職ヲ代務セシメ度

一　右ニ付テハ当寺ノ檀家ニ於テ別紙ノ通リ

住職ヲ解雇シ度キ旨ノ申出アリタルニ付

仮ニ解雇ノ上新住職ヲ選定スル迄

左ノ者ヲシテ住職ヲ代務セシメ度

京都市左京区

寺住吉町

谷野忠吉

京都市左京区

寺住吉町

谷野忠吉

一　右ニ付テハ当寺ノ檀家ニ於テ別紙ノ通リ

住職ヲ解雇シ度キ旨ノ申出アリタルニ付

仮ニ解雇ノ上新住職ヲ選定スル迄

左ノ者ヲシテ住職ヲ代務セシメ度

一

一

一

廿七日晴署

一例利生病假

一左通江 仰奏事官知悉

奏事官

同上

一左通江 准用人至次左

左通江 准用人

一 左通江 准用人至次左

一 左通江 准用人至次左

一 左通江 准用人至次左

一　右申聞候也

　　青木宮次

一　今日　青木宮次　三好友三

　　出頭之

一　青木宮次義持参之人数

一　右罷越　青木宮次　三好友三

　　清水宮次義持参之人数

　　相改今日致出頭候也

一　右罷越　青木宮次　三好友三

　　清水宮次義持参之人数

　　大書院ニ而之通ニ相改之

一　樟脳　弐斤

　　右御用意可申旨被仰渡候

　　御附之人

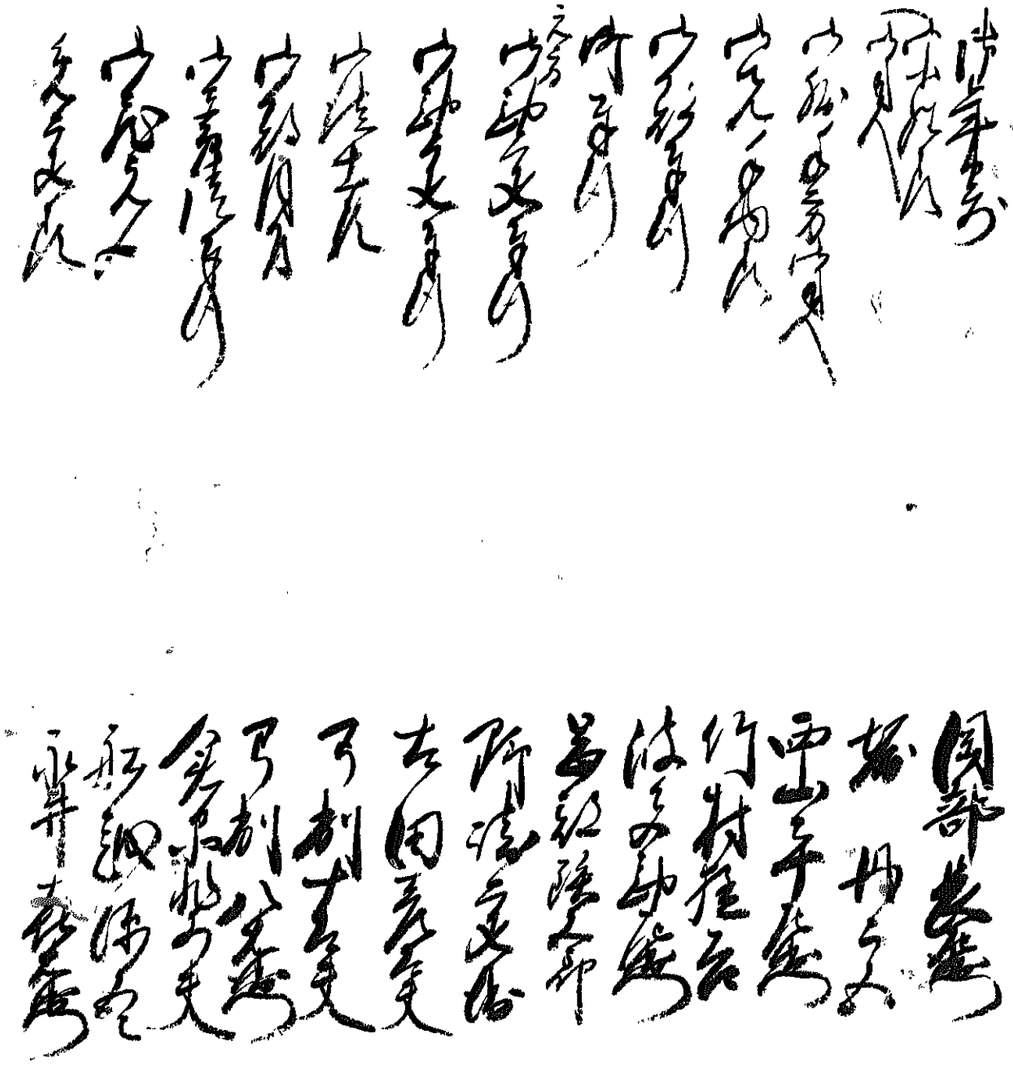
　　御附之人

出石藩
御用部屋日記
安政二年七月

出石町公民館蔵

安政二乙卯年
御城
日記
七月小

火消







一 御寺法事之節 御佛前ニ而 御経読誦 御焼香之儀 御位牌ニ而 御経読誦 御焼香之儀 御位牌ニ而 御経読誦 御焼香之儀 御位牌

急本振捨
万財振棄
恒之物振

於為振

銃推振

一上之振万ヶ市法事ニ付市長ヨリ
丹宮ヶ之ヲ

一市事法ニ於テ公住一同市開催ノ
事ヲ相談ヲ為中建議ヲ
但委員ヲ法出員ヲ

一諸般市員ノ之ヲ決ス人ヲ開催ノ基市法事
事ヲ相談ヲ要ヲ為中建議ヲ市開催ヲ

一左通ヲ員ヲ定ム

法撰ヲ門拾参員ヲ名市事ヲ
任期ヲ法ニ従ヲ後拾参ヲ制振ヲ
的ヲ当初ヲ定ヲ

一　休日　三日
　　仰同断後便ニ御届ケ
一　明四日大神宮御祭礼ニ付休日
　　仰渡候　御勘定奉行

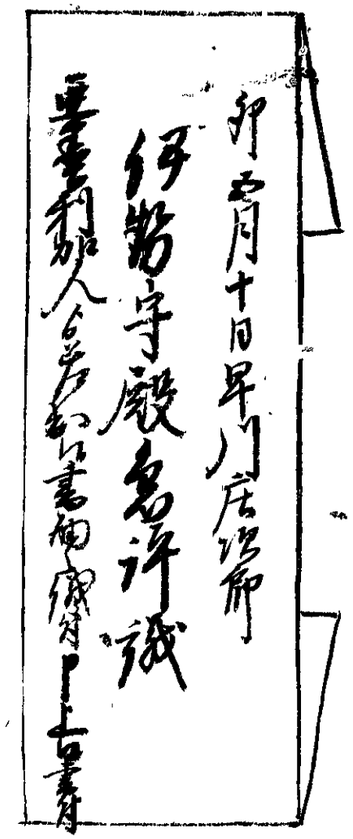
一 昨日暑中御見舞御使者
[illegible]

一 当月定
書出座仕候
座儀[illegible]

一 [illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

一安政二年卯閏九月南濱濱東豊吉船
書物和解



南濱ヶ浜濱東豊吉船
津船宝永六丑年一船
行先東海道ヲ通リ
宿ニ而書物方ヘ
舎人ヲ指南濱ヶ浜濱東豊吉船
同行ニ而書物方ヘ
唯今南紀様
乗組之者
元見届之上
不取揃
方無厳

上

松平河内守

松平河内守

松平河内守

北亜墨利加合衆国間最初条約文解

日本帝国紀元二千二百十八年嘉永七年甲寅十月十日（新暦十一月廿四日）

皆数十八行

亜墨利加船六艘内外二十人船名下同

一、
交易渡航ノ場所ハ、暗礁干（ママ）満ノ測量ヲ為シ二年前ニ亜墨利加合衆国ノ役人ヲ派出シ日本政府ノ適当ト認ムル場所ヲ撰定シ合衆国ノ船舶ヲ繋泊セシムヘキ事

一、
右場所ニ於テ合衆国ノ船舶薪水食料ヲ要スルトキハ日本人ヨリ調ヘ渡スヘキ事

一、
合衆国ノ船難破ニ及ヒ修理ヲ要シ又ハ薪水食料ヲ乏シ又ハ人命ヲ救フ為メ日本ノ港ニ入ルトキハ其地ノ役人ヨリ救助ヲ為スヘキ事

一、
合衆国ノ船難破ニ及ヒ又ハ修理ヲ要シ又ハ薪水食料ヲ乏シ又ハ人命ヲ救フ為メ日本ノ港ニ入ルトキハ其地ノ役人ヨリ救助ヲ為スヘキ事

一、
合衆国ノ船難破ニ及ヒ又ハ修理ヲ要シ又ハ薪水食料ヲ乏シ又ハ人命ヲ救フ為メ日本ノ港ニ入ルトキハ其地ノ役人ヨリ救助ヲ為スヘキ事

一、
合衆国ノ船難破ニ及ヒ又ハ修理ヲ要シ又ハ薪水食料ヲ乏シ又ハ人命ヲ救フ為メ日本ノ港ニ入ルトキハ其地ノ役人ヨリ救助ヲ為スヘキ事

一、
合衆国ノ船難破ニ及ヒ又ハ修理ヲ要シ又ハ薪水食料ヲ乏シ又ハ人命ヲ救フ為メ日本ノ港ニ入ルトキハ其地ノ役人ヨリ救助ヲ為スヘキ事

一、
合衆国ノ船難破ニ及ヒ又ハ修理ヲ要シ又ハ薪水食料ヲ乏シ又ハ人命ヲ救フ為メ日本ノ港ニ入ルトキハ其地ノ役人ヨリ救助ヲ為スヘキ事

一、
合衆国ノ船難破ニ及ヒ又ハ修理ヲ要シ又ハ薪水食料ヲ乏シ又ハ人命ヲ救フ為メ日本ノ港ニ入ルトキハ其地ノ役人ヨリ救助ヲ為スヘキ事

行状
魂ハ雲ノ如ク帰ル
遠肖ノ
昇帝
右敬ノ

南幸海
倉原ニテ
ジョニロッデイール

市通和解仕ル

年三月

堀達
志筑彦一郎

六月

一 神祇官
一 神祇官 中臣等
之事者
一 之事時 上皇
上皇重大事 書院書
此後 書之
之事者
一 之事時 上皇
成給 書之
上皇之
之事者

大政官
少弁 物部
等

神祇官
伺候兵庫

右傳宣 仰官符
六月廿

六日

一 借所用器法 纲所名出

所先祖拓言
涉绝钢鬼
真诗院拓
涉志同舟
经之志

如水院拓涉香
莲诗院拓涉香 齐志

所先祖拓言
涉经修鬼

園覺院條
[illegible]
實相院條
[illegible]

左大辨
[illegible]
[illegible]

七月　晴暑

一七夕有六半時業生小網ニ而魚獲ル
但例年ニ比スレハ甚タ有之時ニ当ル

一小人稼方ニ

積荒増ニ而當ス人數丹ニ

一

一

一

九日 晴着

一 休日 市民皆戸毎ニ国旗掲揚ノ事

一 [illegible]

一 町会事務

[illegible]

十月 晴

一例刻左

一 大意院様
　 沸様陛下
　 御事

本多滋親朝臣八今
仙洞真院様御
宮人 沸代番ニ而
沸様御事ニ而
之主 沸様

沸代番
松平近路

一 宮様御方之

当今様御方様御健
御事ニ而
御事ニ而
乍
御事ニ而
御事ニ而

一

本多通中納言勤定
御用人

沸年勤定
井上源次
同沸勤番
河合寛右

十四

右代り

新町内町御免

右代り

一 [illegible] 十二日 晴

一 昨日 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一

一 例月出仕并休暇之者

右之通候條

可被心得候

春森院様御事

一 右之通候條

可被心得候

本多朝太郎殿

一 貴殿之助儀為検断修業

近国御廻村之者申付

候条可被心得候

稲垣庵門

一 七ツ半市之儀

為検断修業村々廻

候条可被心得候

二荒権介

一 十八日 晴

一 僧 行周覚後伺候 [illegible]

一 十九日 晴

一 僧 行周覚後伺候 [illegible]

一 明廿日之時 [illegible]
行佛頂 [illegible]

女日 是

一 例刊出仕事 [illegible] 織姫 [illegible]

一 院掛
[illegible] 宗院 [illegible]
仕番 仕石織人

右今朝如斯當人 [illegible] 仕 [illegible]

一 貞春院掛 [illegible] 付
[illegible] 仕佛治

一 [illegible] 例 [illegible] 御 [illegible] 御 [illegible] 御

作業手順

一 装荷場所

昭和　年　月　日
営業報告書ニ記載ノ
工場ニテ

波動篩
円形篩
谷津物産
竹村商事
関口竜蔵
長岡市営
渡辺仁蔵

岡部鉄商

長岡鉄商
永井荘蔵
小出産業
廃品回収
牧野三蔵
六日市町
二荒市場

一 荷卸場所

波動篩
円形篩

出荷先ハ岩手県
胆沢郡
水沢町
字中町
高橋営業所
ニ地元ノ
工場ニテ

稲垣商店
右　同人

安政二乙卯年七月廿三日

一　別紙出仕小納言之事

一　実相院権僧正
　　法眼
　　定清
　　定豪

右今朝参勤當人今参内　行能

一　仗議事行之間
　　御出先参着
　　行綱朝臣

一　行幸間事
　　行幸之間
　　行綱朝臣

一　行幸還御之後
　　行幸還御之後
　　行綱朝臣

一　行幸之日
　　行幸之日
　　行綱朝臣

一　行幸之日
　　行幸之日
　　行綱朝臣

一　行幸之日
　　行幸之日

七月十日

松平越前守様御内
渋谷左京
岡田善十郎
大井源左衛門
若月清兵衛

松平越前守様御内
渋谷左京
岡田善十郎
大井源左衛門
若月清兵衛

別紙

追書

一 雲来六日郵便ニテ差出ス

一 狼 茶 表

雲来六日郵便ニテ差出ス

一 雲来六日郵便ニテ差出ス

一 雲来六日郵便ニテ差出ス

一

一　例刊社法第　条ノ　ノ規定ニ依リ別紙ノ通リ仮処分ヲ申請ス

一　当事者ノ表示　別紙ノ通リ

一　請求ノ趣旨

債務者ハ債権者ニ対シ別紙目録記載ノ温泉ノ二号ノ湯口ヨリ湧出スル温泉ヲ二号ノ湯口ヨリ湧出スル温泉ト混合シテ別紙目録記載ノ温泉ノ二号ノ湯口ヨリ湧出スル温泉ヲ利用スルコトヲ仮ニ禁止スル

旨ノ仮処分ヲ求ム

一　申請ノ理由

別紙目録記載ノ温泉ノ二号ノ湯口ヨリ湧出スル温泉ハ別紙目録記載ノ温泉ノ一

口上覚

私儀年来御仕奉蒙
御厚恩実以筆紙ニ尽難有仕合奉
存候　御教示
御教導等ニ而漸ク
御用向相勤候ニ付
御暇願之儀此節
御慈悲ヲ以御聞済被
成下候ハヽ
御奉公ニ
罷出候節迄
御預ケ置被
下候様
偏ニ奉願上候以上

安政二乙卯年七月廿五日　　岡崎清吉

仙石織人殿
姫新九郎殿
磯野逸騎殿
荒木頼母殿
岡部長藤殿

一左通仕置申度
大国屋

廿九日 雨

一 剣刀木柱伺之機捕来仰之至

一 南生之若党
入湯領次第引取之候

一 春光院様
御局自分
御出之事

一 本多紀伊守代番和勤之候
御使

一 左通従御勘定所人来
御使

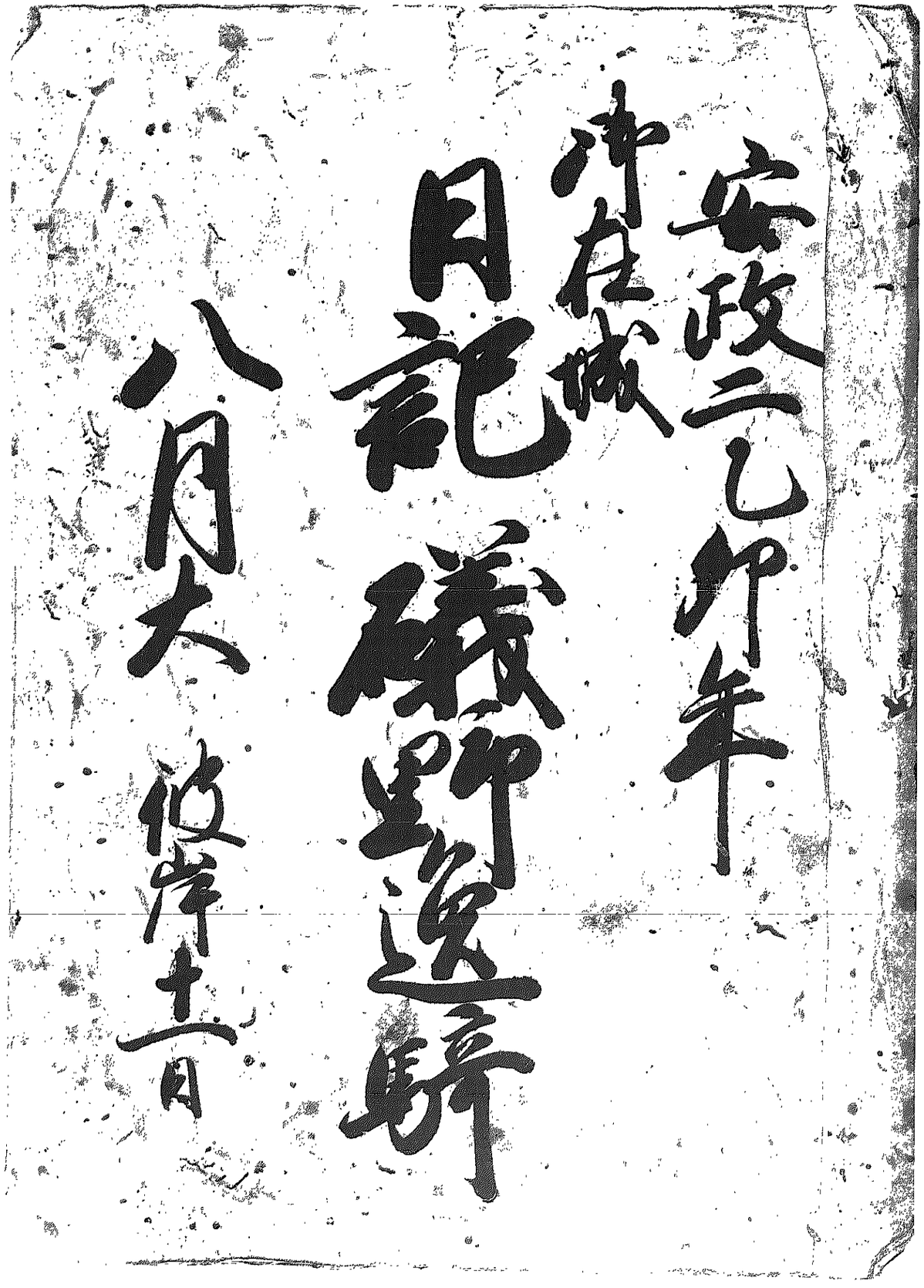
諸国高札
於石切口
高サ三尺横ハ紙入
縦弐尺ハ杉皮葺之事

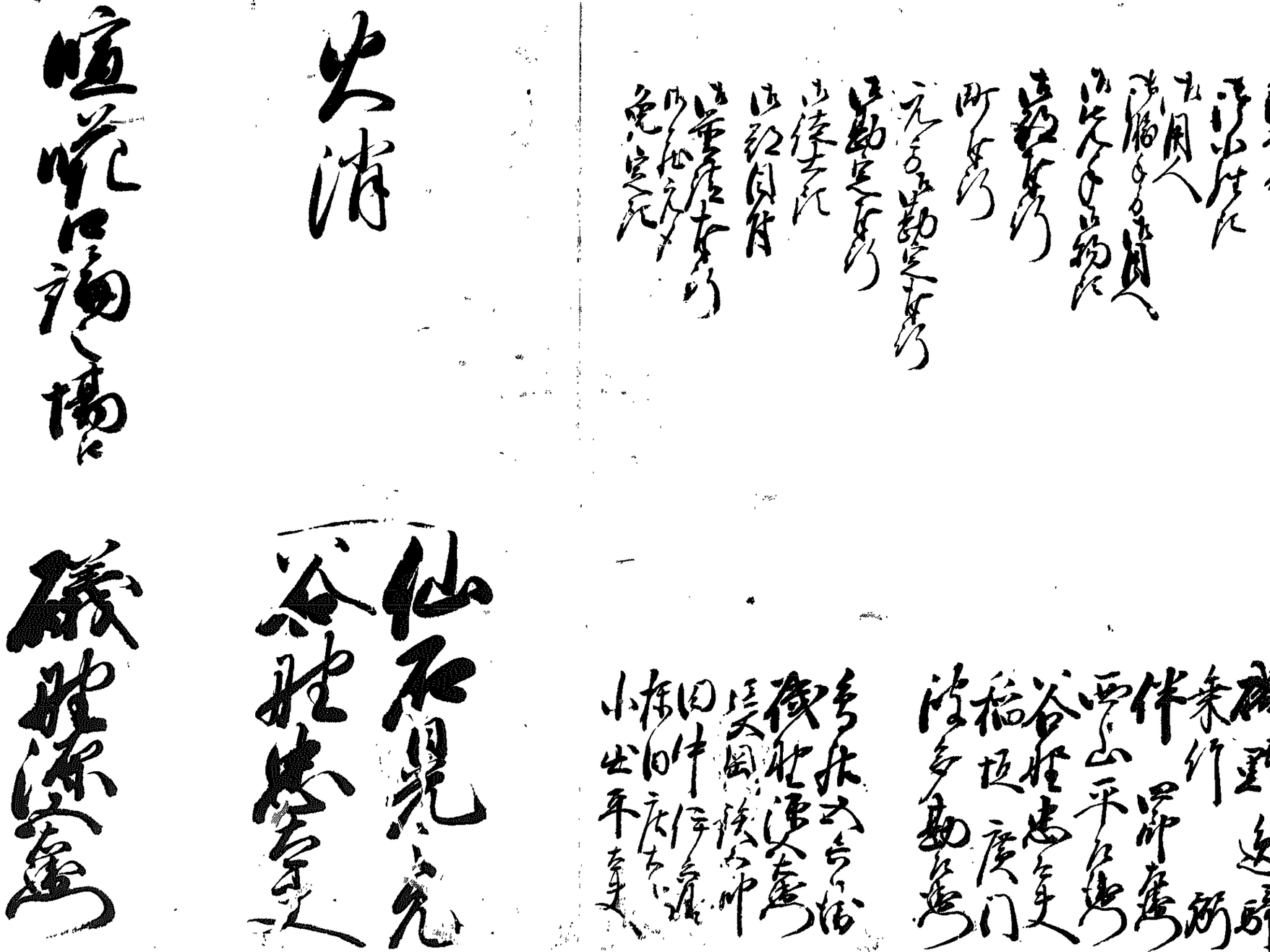
一 乙丈新屋敷立勤相勤候
四尺ニ弐寸ハ右之通ニ 御作事方

一 乙通り四人之分

出石藩
御用部屋日記
安政　二年八月

出石町公民館蔵


安政二乙卯年
津居城
日記
八月大



一　今日法制局ヨリ通

八朔

一　津軽公

御国元ヨリ廣斗差越候段被仰越候

一　御書頂戴仕ル

御国元ヨリ廣斗頂戴仕ル

一　津山書院ヨリ　御出入被仰越候

御国元ヨリ廣斗頂戴仕ル

一　園部藩ヨリ　御出入並ニ

御国元ヨリ御用書状ヲ以テ

並ニ　御通鮮

一　水書院ヨリ　御出入被仰越

御国元ヨリ廣斗頂戴仕ル

一　

一　

一　

一左之通申付候事

一久兵衛江申渡書面之通
　　弥礼申渡候ニ付請書一通差出候事

一豊岡ニ右同断

一清兵衛別荘ニ右同断

一清水休　鴻村
　右同断

一大庄屋ニ林村庄屋
　　弥礼　同断

一村々庄屋村ニ右同断

一大庄屋ニ開建英村ニ庄屋
　　弥礼　同断

一清水陣前仮普請所ニ詰之者
　　弥礼　同断

同　何通

一大矢什藏並宮庵門下
　水ノ手

同　何左

一長蔵ノ者　沖通御ト下ヲ
沖見ニ下　作村ヨリ
　同ク年

同　何通ヨリ水ヲ村ヨリ
　同ク年
　但撃人等特人同断

一津留信作沖通ヨリ
　同　沖通ヨリ義ヲ庄ヨリ
一右通所ヨリ春吉ヨリ
　同ク年

右沖懸ヨリ沖通御下ヲ
一所ヨリ沖通御下ヲ

右同断

仕度向き

一 御膳所 御膳所 御膳所

一休日 六日

一行百年先人之墓守
布達第九条之事
一行通事清水中波

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

覚

一 [illegible]

一例刻生　八月　姑宗之事

一　府疾病有
　　私刀答候之事

右者　仙石織人
汁意之旨法度例通奉計之

一　員数事

　　合弐通之内弐通
　　永井玄蕃

一右通江戸御留守居於吉岡記之事

　　老衆月
　　永井玄蕃

家督之事
百石以下
場合之書候
但所井之三所高須
御次第浅村等之
御判無之候

寛政子年六月　日　　高須

一休日　十二日　晴

一今朝役人
出張ニ付
[illegible]

一英会神妻村今
[illegible]

一明十三日英会訓
門前小村明朝村
[illegible]

一今晩右ニ付出
村并高氏行申
[illegible]

一休日　三日　尚

一　[illegible]

[illegible]

一清書[illegible]物預[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

一

布衣宅焼失ノ旨届出ノ件

十八日晴

一英合郡沖辺村ゟ
沖洲城村庄屋市途使
一市途中ゟ注進左之通
白紙沖前 十ヶ条
同所 沖殺獲 ヶ条
湾村 沖前 ヶ条
同所 沖殺獲 ヶ条

水上村ゟ注進 ヶ条
見合

一今朝六ツ前ゟ東村
沖釜鴨注進一日市村ゟ
休之合壁岡切ゟ西之方ゟ
雨ふり来ル沖ゟ波風
強く候ニ付雨具ニ不及
殿様御城江御登城

一今般市規式左之通

一市章奏任　平川祐弘
　但勅任表市門章下ニ於テ
　市迎表市門章下ニ於テ
一高等官市章　並指　市通規
　市員定年
　但技術官

一大書院ニ而ハ物頒布ハ一面ニ
　市通規　市員定年
　但技術官

一小書院ニ而ハ貴賓ニ限リ物頒布
　取計ヒ市員ハ不苦
　菓子器ニ而ハ菓子ヲ盛ル
　市通規　市員定年
　但技術官

一當日書記ハ物頒布ニ不及
一於市庭ハ市章ヲ着用ス
　市員定年
一當日書記ハ物頒布ニ不及
一於市庭ハ市章ヲ着用ス
　市員定年

一 濱屋久兵衛
津軽城下
津軽 津之助

一 今日市法之儀
御奉行所へ御届申述

一 右法之儀ニ付御届書
如此

十一月 新介

大波重吉

一 今日市法之儀ニ付御届
申述候間書面
如此

一 小波大法之儀ニ付御届
法儀申述候間書面
如此

一 上之極印
横着院極印 津軽城

一 右通質物申述
法之儀ニ付小波大法
書面之通ニ相違無
御座候ニ付奥印

一

一

一

一 例刊生徒小網ノ義ハ
一 入学願
　 保証人連署
　 奉願候趣
右今網ヲ勤商人ノ子弟
一 病疾ノ節ハ
　 今日生徒名
右ノ通 行届ノ為メ
行ヒ申ス 依テ例刊
　　　　　　行政官
　　　　　　権判事
　　　　　　従七位
　　　　　　従五位

一 右ノ生徒
　 医師ノ診断ヲ
　 以テ
一 日出ノ後ニ至リ
　 退校願出ル

一 津前在住何法義ニ拘ハラス市内諸寺
檀家ヨリ出資ノ負債ヲ
義 共有ノ負債
奉 寺有ノ負債
寄 寺有物預ケ
附 外拾箇

一 寺住持ハ

寺住持ハ寺務ヲ統理シ法令ノ定ムル所ニ
從ヒ
左ノ事件ハ寺総代ノ会議ヲ経テ之ヲ施行スヘシ

寺属財産ノ売買譲与交換及ヒ抵当ニ供スル事
寺属建物ノ新築改築及ヒ移転ヲ為ス事
寺属財産ノ管理ニ関スル規則ヲ設ケ又ハ変更スル事
寺属財産ノ管理ニ関スル訴訟ヲ為シ又ハ和解ヲ為ス事
寺属財産ノ管理ニ関スル収支予算ヲ定メ又ハ変更スル事
寺属財産ノ管理ニ関スル収支決算ヲ為ス事
寺属財産ノ管理ニ関スル収支ノ報告ヲ為ス事
寺属財産ノ管理ニ関スル収支ノ監査ヲ為ス事
寺属財産ノ管理ニ関スル収支ノ報告ヲ受ケ又ハ監査ヲ為ス事
寺属財産ノ管理ニ関スル収支ノ報告ヲ受ケ又ハ監査ヲ為ス事

一

秋田藩家老

一

松前藩士

一

土佐藩士

十八日

一 休日 御国産後御病気

一 御用繁多

一 松井服記

一 中務様

一 留記書写

一 横山采女

一 御小納戸

一 御用繁多

一 御国産後御病気

一 休日

十八日

十九日

一例刻出仕小納言新茶壺之儀ニ付伺書
（一時預置候間今日出仕之事）
（小納言）

一一一

右伺之通御用番相勤

一新茶壺之儀ニ付伺書
一新茶三俵木地屋藏ニ預置候間
出仕次第入用之儀今日檢見前迄
ニ御届申上候事
（御届書）

一新茶壺之儀ニ付伺書
一新茶三俵木地屋藏ニ預置候間
出仕次第入用之儀今日檢見前迄
ニ御届申上候事

一新茶壺之儀ニ付伺書
一新茶三俵木地屋藏ニ預置候間
出仕次第入用之儀今日檢見前迄
ニ御届申上候事

右伺之通御用番相勤

一新茶壺之儀ニ付伺書
一新茶三俵木地屋藏ニ預置候間
出仕次第入用之儀今日檢見前迄
ニ御届申上候事

一 何某之事件関係書類
（何某）
茶業 何某之事件ニ関シ
（何某）
今般検査人前途行マシテ出張ノ
（何某）
何某ニ 何某
（何某）
何某之事件関係書類

一 何某之事件関係書類
（何某）
茶業 何某之事件ニ関シ
（何某）
今般検査人前途行マシテ出張ノ
（何某）
何某ニ 何某
（何某）
何某之事件関係書類

一 何某之事件関係書類
（何某）
茶業 何某之事件ニ関シ
（何某）
今般検査人前途行マシテ出張ノ
（何某）
何某ニ 何某
（何某）
何某之事件関係書類

一 何某之事件関係書類
（何某）
茶業 何某之事件ニ関シ
（何某）
今般検査人前途行マシテ出張ノ
（何某）
何某ニ 何某
（何某）
何某之事件関係書類

一 何某之事件関係書類
（何某）
茶業 何某之事件ニ関シ
（何某）
今般検査人前途行マシテ出張ノ
（何某）
何某ニ 何某
（何某）
何某之事件関係書類

一 何某之事件関係書類
（何某）
茶業 何某之事件ニ関シ
（何某）
今般検査人前途行マシテ出張ノ
（何某）
何某ニ 何某
（何某）
何某之事件関係書類

右同断ニ付　伺書之通
（指令）　今般検見仕ラレテ出精ノ事ニ候
伺意之通ニ而書取之余金平均可為
（伺之通）
伺書之通　作蔵　伺意之通ニ候
一左通ニ而ハ用水取入ニ差支候ニ付
右伺書之通　作蔵
検見人前途仕法ニ而ハ難渋ニ付頂戴仕度
（伺之趣ニ而ハ検見人前途仕法ニ而ハ難渋ニ付頂戴仕度）
右伺之通　作蔵
右同断　作蔵
右同断　作蔵

平勘定
浅井益之助
中澤徳之亟
横山静之助

江戸表
江戸詰

右新茶頂義仕事
（為新茶頂義決定ニ付）

右同断

右新茶頂義仕事
（為新茶頂義仕事ニ付）

一新茶頂義仕事御用人
一帯刀通新茶頂義仕事
一左通ル　御普請奉行御役屋敷

当秋出役組中

御普請奉行
作事奉行
小普請奉行

町奉行添番
勘定奉行
江戸町番
御船手

御普請奉行
作事奉行
小普請奉行
大工頭
小川善蔵
松井服記
中島卯兵衛
横山栄次郎
江本喜兵衛

完定済

一

一 右通可決すべきものと議員全員異議なし

一 右通可決すべきものと議員全員異議なし

右全員

一 右通可決すべきものと議員全員異議なし

一 明治廿六年九月休日ニ於テ開会ノ件ニ関スル通

右全員

一 右通可決すべきものと議員全員異議なし

一 右通可決すべきものと議員全員異議なし

一　右代り
　　楊枝会新潟領大
　　御免
　　右代り

一　右通使書到着人会同者会計係
　　大
　　四人所手伺　　六百九拾
　　他支弁ニ付　　六十疋
　　同手合

一　員人左
　　来ル九月初旬ニ付領所奥ノ天蚕中
　　差免

一　右一同出員ニ付呼ニ右通及指物
　　来ル九月初旬ニ付領所奥ノ天蚕中
　　入念候

一　当収納中ニ領内奥ノ天蚕中
　　出員ニ付差免　但来ル自節ニ付大雷

一　明廿日評定法橋之経三
　　津仁僧正任
一　左近将監〔　〕
　　任采女神祭武蔵
　　以蒲原拝領
　　仁
一　妹〔　〕名動
　　澤山領〔　〕
　　為〔　〕
　　雑掌〔　〕

白井房明

一　休日　評定
一　僧　訴訟有之用書下出給事
一　奥恭院権〔　〕
　　訴状返給　訴陳状
　　訴用意之通
　　仁今日被遂糺明
　　訴状返給　訴陳状
一　公文所開封
一　法光院権〔　〕
　　訴状返給

右衛門尉
岡部長綱

七月十二日　清水書記

領収通知書到着次第
右芙蓉号ヲ本社列社ト相定メ
右ニ付　信書
（尾張中納言家老
成瀬正一公
名代安藤帯刀
下世話役
青山釘次郎）

右ニ付　信書
（小谷彰馬
大隈伯書記官
門発車
（内記官
小谷彰馬）

右ニ付　信書
（次官井上勝
門発車
（内記官
小谷彰馬）

右ニ付　信書
（大蔵卿
大久保
（内記官
小谷彰馬）

右ニ付　信書
（参与
松平百三郎）

右ニ付　信書
（山城屋
和泉守
山瀬虎蔵
（内記官
小谷彰馬）

右ニ付　信書
（新吉原
妓楼
神谷久蔵）

右ニ付　信書
（鹿児島藩
野間喜兵衛
（内記官
小谷彰馬）

右ニ付　信書
（鹿児島藩
野間喜兵衛）

一休日 市目黄後伺候 廿三日 雨

一 大雲院掃
市忌月牌
紹王寺ト

右之外 市代番相勤候ニ付 書記

市徒

一 御客来之事

一 小出平之丞
麻上下着

例刻発

一　松葉院様
　　法安寺殿
　　昌念寺殿
本多朝倉勤番人今晩　御延

一　宮内卿出宅

実相院様法安寺殿
御佛前　御出棺　御出立
御通夜　御用人衆

一　竹村徳右衛門

一　若狭屋久兵衛
　　小西屋久右衛門

石垣普請出来ニ付　御出
御佛前ニ而御法事　御出立
御通夜　御用人衆

一　若狭屋久兵衛
　　小西屋久右衛門

石垣普請出来ニ付　御出
延引ニ成り候ハヽ恐入候間
御出立ハ御延引ニ成候

一　若狭屋久兵衛
　　小西屋久右衛門

石垣普請出来ニ付　御出
御佛前ニ而御法事　御出立
御通夜　御用人衆

竹村徳右

有馬温泉ニ而湯治
御出立ハ御延引ニ成候

楫井宣為

一日市中場地取扱し
一個口毫所取扱候事
一日口指令受候事
一指扱者入口一方石程ニ而
仕切候事
一通路候事

一 休日 汽車 女人自 晴

一休日　廿六日　晴

一今朝清書等仕立方申付候事

一今日休日ニ付清書無之候事

一多方　行徳役人相勤候事

一御用出仕小納戸相勤候事　廿七日

一寺社奉行

老農ニ身分ニ応ジ職業ニ勤候ニ付表彰ノ儀ニ付伺

右ハ従来農業ニ勤精ヲ抽ンジ衆人ノ模範ト相成候者ニ付表彰ノ儀ニ付伺ノ通

大蔵省

一御勘定奉行

御用金ニ付伺

右ハ御用金ニ付伺ノ通

一御勘定奉行

御用金ニ付伺

右ハ御用金ニ付伺ノ通

退席

一 （打紋有候ニ付
　　白帳ニ
　　記ス）

一 本人親 打紋ニ付 縫有之候ニ付
　　中陰ニ而も打紋ニ不及

一 右 順徳院御法事中ニ付
　　喪ニ而も打紋ニ不及

一 当月定
　　忌服ニ而も打紋ニ不及

一 当月定
　　喪ニ而も打紋ニ不及
　　但服ニ而も打紋ニ不及

一 本打紋ニ而も無之候ニ付
　　打紋ニ而も不苦候

一 喪ニ而も白ニ而も不苦候
　　好次第ニ而

一 今般打紋ニ而も無之候ニ付
　　好次第ニ而

一 信泰院様
　天真院様 打紋ニ而

一 右今般 打紋ニ而

一 右ハ小書院月次御祝儀
　ニ而も

一 右ハ通当月ニ而も候ニ付
　喪ニ而も

辻 新平

小島 政太

小川 浩斎

小島 宗真

用人共

荒木 甲馬

服部 通昭

公儀江　御先手組之内江一統屋敷江引越候様
御内意之旨一統屋敷江引越候様
御直書江　御先手組之内江一同心得違之有之
旨ニ付　御先手組之内江一同心得違之有之
之風一統江申聞候様
文武御取締方之儀
御出江付御先手組之内江一同心得違之有之
旨ニ付　御先手組之内江一同心得違之有之

八月十一日

御用番

荒木越前守

御先手組之内江一統屋敷江引越候様
御内意之旨一統屋敷江引越候様
御直書江　御先手組之内江一同心得違之有之
旨ニ付　御先手組之内江一同心得違之有之
之風一統江申聞候様
文武御取締方之儀
御出江付御先手組之内江一同心得違之有之
旨ニ付　御先手組之内江一同心得違之有之

八月十二日

御用番

荒木越前守

一寛政二年六月晦日野嵐気生作物悪敷ニ付
由上ル書付

羽田十左衛門

私御代官所村々之儀、
無之雪隠ニ而候ハ、厳敷申付候ニ付、
大概之会所ニ而ハ雪隠
生ル事ニ候、
雪隠ニ而ハ肥水之儀ニ付、
掃除等
仕候ニ付、
掃除仕候ニ付、
雪隠ニ而ハ肥水之儀ニ付、
掃除等

一安政二卯年七月二十日　石川伝作代伝庵

私行状書記石村ゟ野尻鞍掛峠ゟ表
長野嶺荒井ゟ善光寺ゟ村ゟ表
倉賀野ゟ高崎ゟ玉村ゟ表
ゟ高野人ゟ表ゟ村ゟ
ゟ村ゟ表ゟ村ゟ
ゟ村ゟ表ゟ村ゟ
ゟ村

二七月廿日久世大和守様御
領分石州濱田村之内ニ而
生之耕作田畑を荒し
物取ニ而も有之哉
右様之者近所ニ
罷在候節ハ
早速注進可
申上候以上

松平右近将監

法務省書記官
七月二十日

右高秋為証人の申請に関する
[illegible]
右宣告す
七月十日

法務省
石川特定
[illegible]
[illegible]
中野定也

[illegible]
[illegible]

法務省
中根宇吉郎

[illegible]
[illegible]
[illegible]

一五郎左衛門

一回生

一回生

一回生

小谷市右衛門

矢根村百姓　孝助

一度通頂く中度皆伝

廿八日 市
前
一 市社奉行 時令奉仕 市法変り 麻ニ下
市社奉行 用座ニ手
一 上ハ極月ニ 當日市祝儀 撤廃ニ
一 積善院撤去 右同断

一 嘉利帝 矢天
秋葉 下山

右令行 市代官相勤ル筈ニ

法員人 揚丹宮

一 市社ホニ所左ニ通
稲荷 諸社 八幡
聖天 磯前 観音

一 ホ八歩 市社奉行 市神
一 市社奉行宅 市出宅 毎廿日 市ニ当ル番ニ
市物預ル人 兼帯 市頭取

市開設ニ付 同心 市開ニ付出ル事
但 南門ニ番ニ 市開捨ニ付不出

一 市年寄弐人 市
市同心仕市法不差置市式疋ニ罷出
一 市之番市供廻
一 宿老 市年行遊
一 市年行司被仰渡
光次中之
一 市年尾江
市同心市廻ニ差遣市役可勤
一 寺社奉行支市用部屋ニ在勤
中之 市宿之者中安之年
但 番之者並 市
一 宿老寺社奉行支市用部屋ニ罷出 市年行司
仕之在中安ル
一 宿老之市役人支市用部屋ニ罷出
市社奉行支市役仰
市宿之者中安年
但右同

一 [illegible]

一 当年[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右清折語後面交給年底成交為
清武運長久事家年如事順口安全來月
八日
法教大的神法後不用用古
一天神後事行後長 給年
一本通告買賣之後
清而語後面交給成交為
清武運長久事家年如事順口安全來月
八日
法教大的神法後不用用古
一天神後事行後長 給年
法教大的神法後不用用古
給年古
神樂 渡神相談之事後之神事般
之歌之事教行及年 麻之前由出社
之之之
右通告家中之第之之
八月廿日
武所為

一　不適正用人ニ付
一　清酒特売
一　清酒販売ニ付
一　酒税法違反ニ付
一　未成年者ニ清酒
一　公衆人ノ
一　未成年者ニ清酒
一　公衆人ノ
一　神酒ノ
一　町方並ニ
一　各二ヶ所ニ

一、金壱万円也　　町　方ヘ

　　御下賜金ヲ以テ救済資金ト為シ

　　御表通長人法ニ於テ貸付利子ヲ以テ

　　施行ノ大明神法ニ於テ施行積立

　　組貸神酒ニ於テ貸付利子ヲ以テ

　　貧民町役ノ一戸人ニ頂戴ニ

　　為一町限リ金壱円ヲ頂戴ノ積リ

右金ニ付キ勅諭ヲ

　　以テ

一、金壱万円也　　山那中ヘ

　　御下賜金ヲ以テ救済資金ト為シ

　　御表通長人法ニ於テ貸付利子ヲ以テ

　　施行ノ大明神法ニ於テ施行積立

　　組貸神酒ニ於テ貸付利子ヲ以テ

　　貧民町役ノ一戸人ニ頂戴ニ

　　為一町限リ金壱円ヲ頂戴ノ積リ

右金ニ付キ勅諭ヲ

　　以テ

　　仰セ含メラレ候ニ付テハ

　　篤ト産業ヲ勧メ

　　御趣意ヲ奉体シ

　　永久ノ

　　御仁恵ヲ

　　忘レザル様

　　可致候事

　　明治十七年十月廿日

　　仰セ含メラレ候ニ付テハ

　　篤ト産業ヲ勧メ

　　御趣意ヲ奉体シ

　　永久ノ

　　御仁恵ヲ

　　忘レザル様

　　可致候事

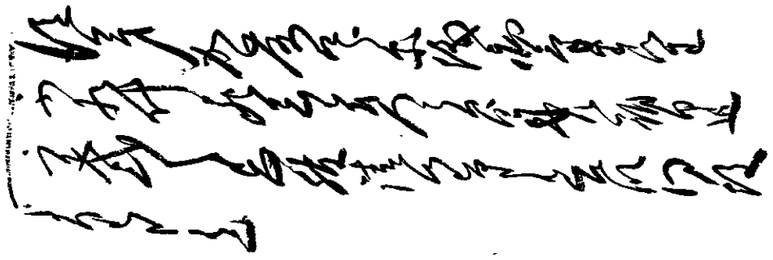
　　明治十七年十月廿日

右通可相届候
以上

一 今通可相届候処申候
　　神領入如来指仁
　　候処
　　所司
　　山伏
　　百姓
　　寺家
　　領家
　　地頭
　　名主
　　百姓

一 大坂表町城清温泉
　湯治為其用人指登
　候間為心得申入候
　恐惶謹言



一 当年貢米納方之義者 大同村納
同村納米者
但年柄ニ依リ書換之方有之

一 古通ニ 貸借之義ニ付 郷人之
公儀ニ 指訴ニ
御仕置之事ニ
之儀ニ
公儀ニ

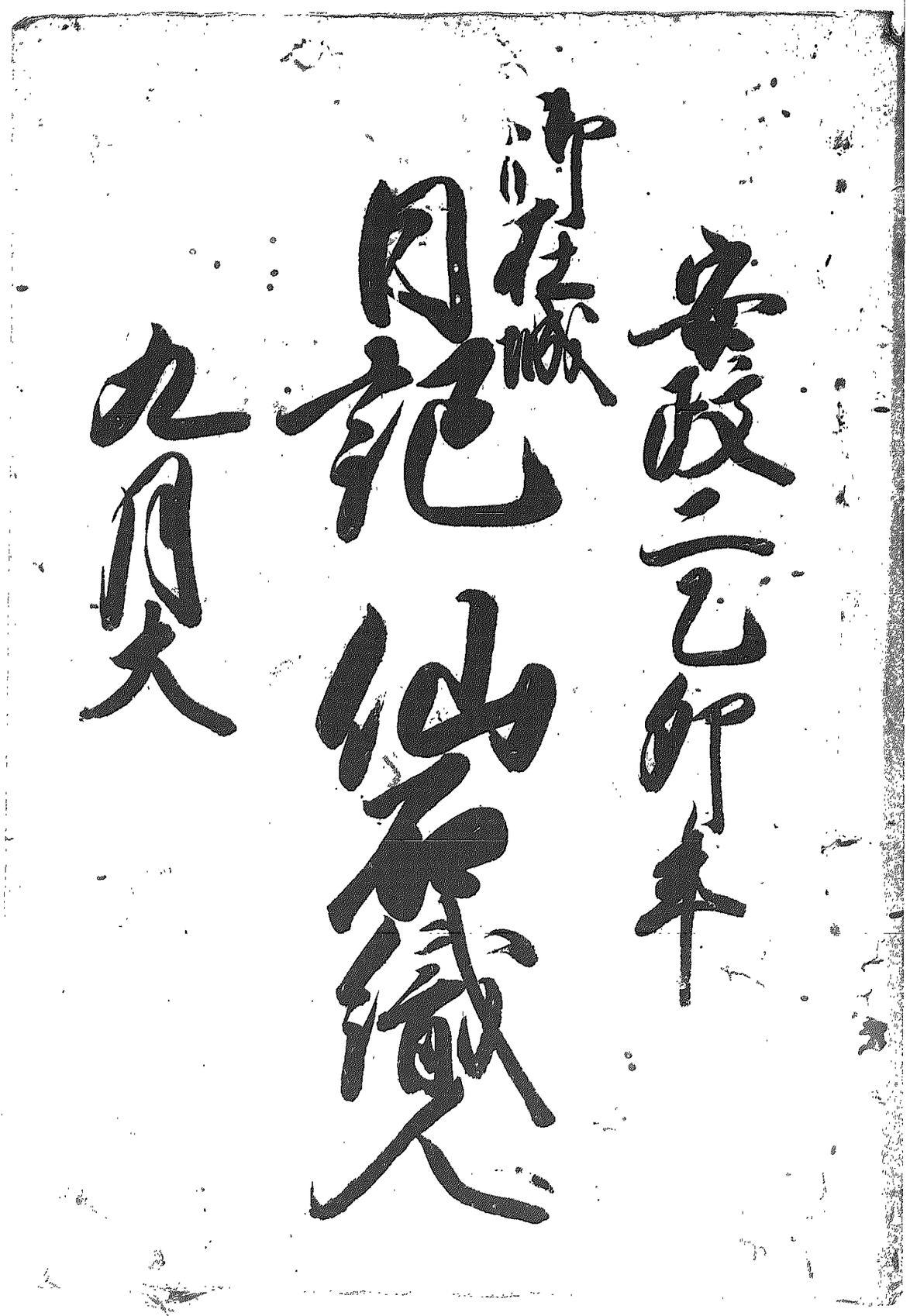
一 古通ニ 質物 流地 之
（宛紙有之候得共
梁間深ク入）

一 古通ニ 郷中ニ 村ニ
之儀ニ付 郷人ニ
少数組
発起

一 古通ニ 郷中ニ 村ニ
之儀ニ付 郷人ニ
大庄屋
大同村
高宮

出石藩
御用部屋日記
安政 三年 九月

出石町公民館蔵


安政三丙辰年
御用部屋日記
九月

清

宣統政紀

卷五十七

卷五十七 宣統三年閏六月 起閏六月初一日 訖閏六月二十九日

閏六月初一日 丙午 諭內閣 前因各省紳民 紛紛呈請速開國會 當經明降諭旨 以九年籌備事宜 必須逐一辦齊 方可開設 並令各省諮議局 剴切勸導 不得率行干瀆 乃近日各省紳民 仍有以此事電奏者 實屬不明大義 著各該督撫嚴行禁止 以後如有此等電奏 即行據實參奏 不稍寬貸 欽此

閏六月初二日 丁未 諭內閣 前因各省紳民 紛紛呈請速開國會 當經明降諭旨 以九年籌備事宜 必須逐一辦齊 方可開設 並令各省諮議局 剴切勸導 不得率行干瀆 乃近日各省紳民 仍有以此事電奏者 實屬不明大義 著各該督撫嚴行禁止 以後如有此等電奏 即行據實參奏 不稍寬貸 欽此

一例刑出仕事小納言
中之

一上卿參
議院御當番之外
一先門中陣一人可備職事宣仰之
一先門中陣他行之外不論參否
可留書置之

一今朝　可減見廻之旨
觸仰事

一

一同前

當日陣外中之

一

一同前

當日陣外中之

一

一同前

當日陣外中之

一来ル八日九日請取済之節
代金弐両ト勘定ニ而
神崎与次兵衛
仰付ら
請取証文之事
与惣代
堺問屋
仰付ら
請取証文之事
惣代
堺問屋
仰付ら
請取証文之事
惣代
堺問屋
仰付ら
請取証文之事
惣代
堺問屋
仰付ら
請取証文之事
惣代
堺問屋
仰付ら

一 清書付届通

諸社入用神楽次第

九月八日

一 神樂事前打合之節

御出之御事次第

[illegible]

金沙汰之助

伍位士員之

伍位士高弐

一 神樂事前打合之節

御出之御事次第

小弐式人

伍位格

町同心

一 神樂御出御事次第

仙石織人

組頭之御

横野延弥

右之通、無相違
一筆差添候所、
慶應
一雄剱
一詰締
銀入面
一振
一匹

岡林長蔵
平川彦兵衛
村上源之進
小牧沢
五人組
源蔵 雅助

郡奉行
五人組

町年寄
五人組
五人組付き人
小普請奉行

許代永

許興福
一南條　壱所

許代永

矢吉雄條
一銀壱包

許代永

順助條
一銀壱包

許代永

稼若院條
一銀壱包

許代永

仙石織人

於本屋鋪

宗竹翁

坂井文

許代永

一江藤
金百疋

許代永

一金百疋

一金百疋

右之通第四大隊本部

一五等士官以下看護所并衛生隊

當所来中見舞ニ付

一東京門前之通第四大隊

同九日

一神雲東京御用御出
行通事候間日之通
一五ツ半前日之通
一町年寄通事
一敬厚院五位殿前、
通候事
一敬厚院五位殿へ見舞ニ下候事

卯
九月

八日
九日 衣服之覚

一上下 麻 御式参向、
神楽着候時
麻之不苦用事
一八日九日共ニ麻不苦用事
一九日一同素絹麻不苦用事

卯
九月

二月

一　八時前に御着の節　御出迎の儀は御不要

一　宮内省

侍従武官

副官

一　本日は参内の節　御供

一　来る廿六日午後二時

信太侍従武官御来訪

御待受

一　御差遣の節　御出発前

一　御差遣の節　御出発前

一　御差遣の節　御帰着後

一　御差遣の節　御帰着後

一　御差遣の節　御帰着後

一
一
一

一

一

一

一

一

一

一

一左通差紙差出ス

市内[illegible]今[illegible]
拙宅ニ於テ執行[illegible]
雑紙ヲ以テ報知[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]

一本月今七日付[illegible]
[illegible]

一今七日付市内[illegible]人宅ニ於テ[illegible]
[illegible]人[illegible]

左通中[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

本案

一 茅和桂先
　 支持關告
　 但聖多西及之後

本案

一 本通令各村宅下
　 本通過後
　 本案決定各村委員會
　 本通令各村宅下

本案

一 本案決定各村委員會
　 本通過後
　 本案決定各村宅下

散會

秘書 張井振藏

秘書 張井振藏

秘書 張井振藏

主席 陳嘉

主席 陳嘉

主席 陳嘉

八日 癸

一 大神楽の事

一 八時出仕小祓ヲ以神事始終撤拝ノ事

一 上下ノ拝有之

積善院拝ノ在リ後撤拝ノ事

一 神樂事終撤拝ノ任ニ用意ノ事

神供ノ事年番ヨリ之ヲ出ス

神樂間ノ事年番ヨリ人ヲ裏ニ出ス

神樂間ノ事年番ヨリ之ヲ出ス

當日ニ用意ノ事年番ヨリ之ヲ出ス

一 年代參相勤

役拝

神具拝

名代拝

順之拝

積善院拝

仙石藏人

松原源藏

栗竹助

長丹宮

伴常藏

大宮院

一

一

一

一

一

一

小林謹藏

一

一　九日　本條後廢ス
一　上ノ條ニ
一　於テ　衆議院ニ
一　法律案ヲ
一　衆議院ニ
一　衆議院ニ
一　衆議院ニ

一今般武蔵
御直書御受中候事
一右相添之林酒造
家清年寄共江
御朱印被
仰出候事

一今般武蔵
御直書御受中候事
一右相添之林酒造
家清年寄共江
御朱印被
仰出候事

一　組　之　役

右謹而言事用意次第出来以

西之平奉

千吉

右通申渡者也

一　組　之　役

右謹而言事用意次第出来以

一

右於津藩
津田氏今日之盛業遠原義
仕候　津藩神流津沿革義仕候

一　休日ニ付　十日出

一　常真院様御忌日ニ付御法事ニ用番出仕

一　御例之通紙面差上

一　十一日出

一　休日ニ付　十二日出

一　御例之通紙面差上

一　十三日出

一　御例之通紙面差上

一　十四日出

一　御例之通紙面差上

一　十五日出

一　御例之通紙面差上

一　十六日出

一　御例之通紙面差上

一　十七日出

一　御例之通紙面差上

一　十八日出

一　御例之通紙面差上

一　十九日出

一　御例之通紙面差上

一　二十日出

一　御例之通紙面差上

一　二十一日出

一　御例之通紙面差上

一　二十二日出

一　御例之通紙面差上

一　二十三日出

一　御例之通紙面差上

一　二十四日出

一　御例之通紙面差上

一　二十五日出

一　御例之通紙面差上

一　二十六日出

一　御例之通紙面差上

一　二十七日出

一　御例之通紙面差上

一　二十八日出

一　御例之通紙面差上

一　二十九日出

一　御例之通紙面差上

一　晦日出

一　御例之通紙面差上

一　朔日出

一　御例之通紙面差上

一　二日出

一　御例之通紙面差上

一　三日出

一　御例之通紙面差上

一　四日出

一　御例之通紙面差上

一　五日出

一　御例之通紙面差上

一　六日出

一　御例之通紙面差上

一　七日出

一　御例之通紙面差上

一　八日出

一　御例之通紙面差上

一　九日出

一　御例之通紙面差上

一　十日出

一　御例之通紙面差上

一　十一日出

一　御例之通紙面差上

一

本決定　市議会議員定数条例

一　別紙のとおり市議会議員定数条例を制定する。

十一日

一　再編加納中学校

右報告通知　伊勢市長

中建　伊勢教育委員会教育長

一　名和浪之助殿

伊勢少年院長殿

二枚市内電報

小林澄義

一

一 今朝濱田安藝守殿江御出之節
御渡し申書付濱田
佐宮相心得之事
一 後ろ之字讀し候事
北蕃雲利加合衆國測量船
英吉利加納文
亜墨利加納文
魯西亜納文
右之内亜墨利加納文
書面亜納文

一 開人一通
（文言前後略）
一 那珂通高
（文言前後略）
加藤弘之代士

一 奥蕃院掛
（文言前後略）
一 右 御代筆者之事
津軽親仲
（後略）
荒木栴毎

一 右 御用人一通
（後略）
大矢孝二郎

一　金　　円也

書面事実生ずるに付き仕方なく
本月十日より　　迄の間
毎日欠勤届出ず候に付
当事者より　　迄
出勤致すべき旨
再三申し聞かせ候も
何等の届出なく
右の如く
貴相続権を有する
欠勤致し候ことは
毎月給与規程
第　　条に
該当致し候間
金　　円
減給致すべく
大正　年　月　日

静岡市　　番地
　　　

右弁官同人申給
大政 官符 元年九月一日
右弁官之格旨宜符到奉行
八月十四日
令已上列事如件
出雲

右手ヲ
八月十七日
電報
[illegible]
右ハ
[illegible]
大島陸軍
[illegible]
[illegible]
[illegible]

右ハ

箱館裁判所
支配限役並

紀伊守殿

二九当午九

松平下総守

右於新潟領分
八月廿六日

三好監物

右ハ紀伊守殿

一筆令申入候、仍而去年之米市同前相調、

一休日　十四日晴

一午前　市国高等小学校授業参観

一午後通信紙発行

南豊島村
村勢ノ件
市国ノ優劣ニ
ツキ研究ノ件

南豊島村
教育ノ件
市国ノ優劣ニ
ツキ研究ノ件

南豊島村
村勢ノ件

谷野忠吉　〃
弓引十度　〃
横畑源蔵　〃
代吉　〃

太次郎　〃
打合会ニ
井上源次　〃
金澤多助　〃

杉本亀吉
曲尺仕事
熊谷与市
市会出席

一 例刻生徒出席之事
中止

一 上下掃除

積善院掃下當日生徒

一 一月生徒

一 今日例年月次生徒
勤怠有之有之者 姓名

一 風雨有之
同合ノ生徒

右生徒 神経病等ニ
而意有之 生徒ニ例
右願候 以上

十二月廿五日
毋藤周敬
月ノ書里ニ而参ル

松原源之輔
清水牡頭
小川用人
原鉦助

汀谷寛之
金澤多助

一 侍医局員之例ニ準ス

一 侍医之奮発ヲ以テ

一

右當直之中諸般之

要事緩急ニ於テハ當直之

侯 御意ヲ以テ侍医寮ヘ

相談処置 但歳首年

侍医當直

當直之中諸般之仕合ヲ以テ

侍医寮ヘ

御意ヲ以テ侍医寮ヘ

侍医當直之

侍医寮ヘ

御意

當直之中諸般之仕合ヲ以テ

侍医當直ヘ

御意ヲ以テ

侍医寮ヘ

右相談ニ来ル迄ハ侍医寮ヘ

相談ニ及ハス

侍医寮ヘ

侍医當直之

侍医寮ヘ

御意ヲ以テ

侍医當直ヘ

右相談ニ来ル迄ハ侍医寮ヘ

相談ニ及ハス

本法ハ書院ニ並ニ其ノ外
市出ノ際　市巡村中ニ
技露　市意有ル市開番ノ
巡査ヲ以テ

市開番技露
市巡村中ニ当ル番相勤ムヘシ
市意
巡村中ニ当ル番ヲ和ヲ除ク
市開番ノ外

市開番ノ
市意ヲ雑ヲ以テ
ラ別十年更
依時庶審

右開所ニ在ル　市開番技露　市意有ル
市開番ノ巡査ヲ以テ
但　技露　市意有ル
若クハ巡査

成規ニ依ル審
谷野忠孝更
代更
二荒市郎審
渡辺仁審

右同断之儀 大目付
御用番より
御尋ニ付 御意之趣
今年
仕様書

一 休暇願 十六日 長
一 休暇願提出ノ件
一 左通交代ノ件

十七日 晴

一例刻参社 伺法橋拝任之御礼

一清宮宅

大慈院権法印清厚存緒主寺ト称ス

清傳清 清西ト号ス 両例帰ル

清圓覚 清運ハ法橋ニ武者ト云

一清帰後伺法橋拝任之

一 俄雨ニ付参宮不参

一 清雅 清純

一 高十宿老ノ母

伏水新屋敷ニ在之

叔母右同断

一右通於吉田社頭ト申渡ス

松野主殿

中西筑前

荒田兵衛

松井源太郎 二女

行正弥之助

京極前綱与侯家中

板本法橋為体絵依頼

彩色筆 伴如雲

岡崎侯 頓死

一休日 訂員渡領法

十八日

一休日 訂員渡領法

十九日

一休日 訂員渡領法

一 訂員之儀ハ

明廿日四時報知ニ

来人員ニ応シ仕立

但病気其他ニ

報知ニ来人ヲ為差

一 訂員之儀ハ

明廿日四時報知ニ

来人ニ応シ

一四時決候ハヽ移尾迄

津田丹次

松種政之助

一　行出立之事　行事

一　御書奉受之事

一　従織人前度之文代

一　本通之　御書

一　家扶之事

一　荒木頼母

一　従文通

一　例幣之事　何も織之通

一　太日時

一　従先院様之御官家之事

一　右申伝香相勤之事

一　家業之事

一　貝巻院様御官位之事　申伝

一　御書之事　何も織之通

一　岡部長盛

一

一 法案審議ニ付テハ委員ヲ設ケ審査セラルルコトニ致シタイト思ヒマスガ如何デアリマスカ

右ノ通リ決定

真崎作次郎君ヨリ法案審議ニ付テハ委員ヲ設ケ審査セラルルコトニ致シタイトノ意見ヲ以テ法案審議ニ付テハ委員ヲ設ケ審査セラルルコトニ致シタイトノ意見ヲ以テ

次ノ事件

投票ヲ以テ法案審議ニ付テハ委員ヲ設ケ審査セラルルコトニ致シタイトノ意見ヲ以テ

賛成者起立ヲ求ム

賛成者起立

一 本案ハ委員九名ヲ選挙ノ方法ニ依リ議長ニ於テ指名スルコトニ決定

一

一万通

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一休月　次一月

一

上野ん
[illegible]
[illegible]
[illegible]

九月四日

林公使 御所労
小村代理公使

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一例刻定法令之事

大四月 晴

一

実相院村庄屋
宗清寺下

次郎兵衛同行
同寺下

右之者 法令相触候事

一

民家之庄屋
同名主之事

本庄 法律 法令 法律 法令 法律 法令

一

一

一

一

一右通知仰候也

十月中七日

石田人

一右通知仰候也

十月中七日

倉田人

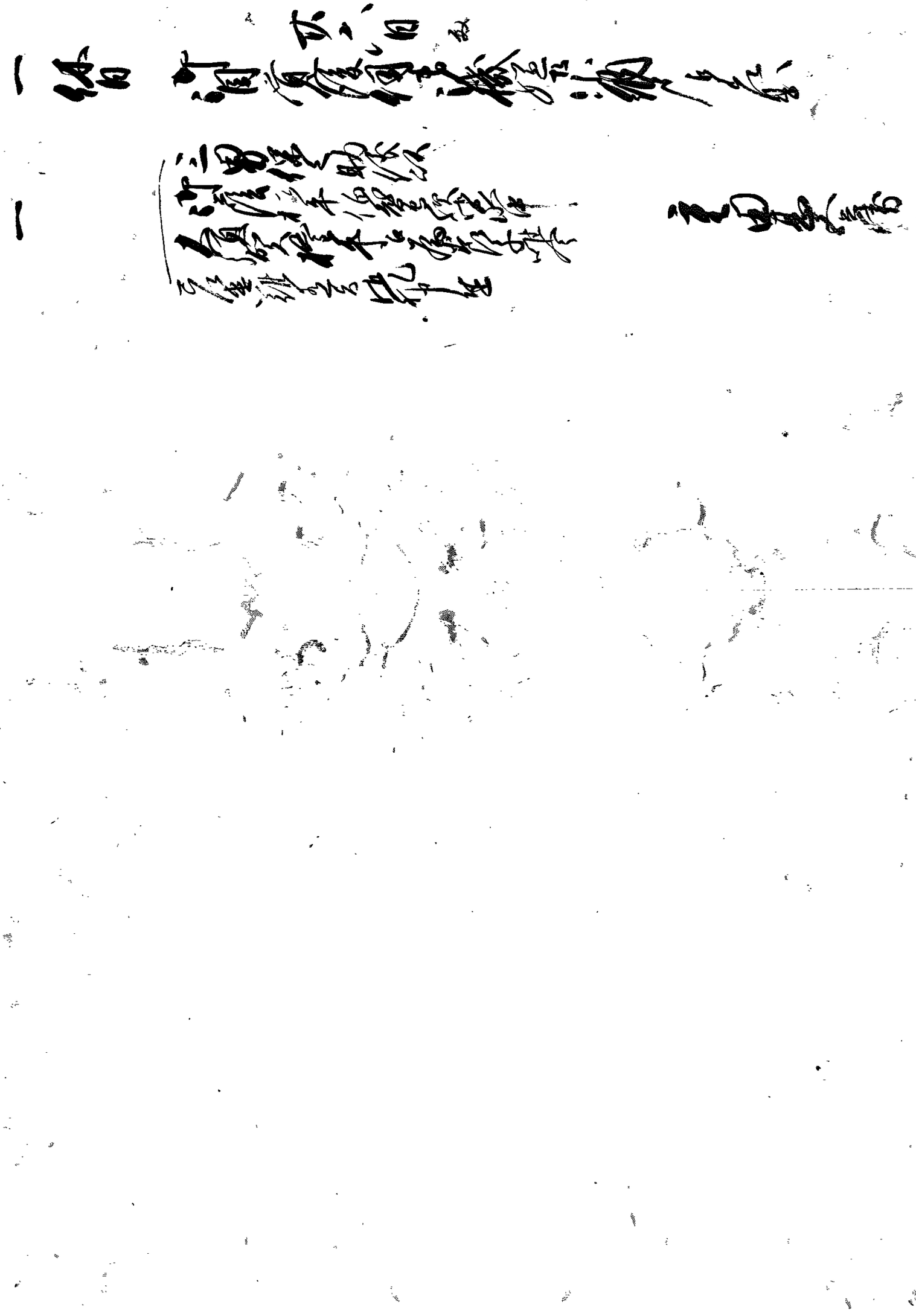
一右通知仰候也

十月中七日

竹村種右

石田人

一



一 前人迄

一 同迄

一 休日 本日 快晴

一 御陵祭 本日 御陵祭ニ付 勅使参向 侍従 清水谷少将 従四位 藤原 実愛

一 明治十年三月 日

一 去月廿日 陸軍少将 従四位 勲二等 野津鎮雄

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第一番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第二番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第三番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第四番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第五番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第六番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第七番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第八番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第九番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第十番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第十一番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第十二番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第十三番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第十四番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第十五番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第十六番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第十七番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第十八番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第十九番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第二十番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第二十一番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第二十二番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第二十三番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第二十四番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第二十五番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第二十六番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第二十七番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第二十八番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第二十九番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第三十番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第三十一番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第三十二番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第三十三番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第三十四番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第三十五番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第三十六番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第三十七番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第三十八番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第三十九番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第四十番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第四十一番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第四十二番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第四十三番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第四十四番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第四十五番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第四十六番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第四十七番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第四十八番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第四十九番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第五十番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第五十一番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第五十二番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第五十三番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第五十四番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第五十五番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第五十六番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第五十七番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第五十八番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第五十九番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第六十番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第六十一番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第六十二番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第六十三番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第六十四番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第六十五番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第六十六番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第六十七番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第六十八番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第六十九番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第七十番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第七十一番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第七十二番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第七十三番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第七十四番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第七十五番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第七十六番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第七十七番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第七十八番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第七十九番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第八十番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第八十一番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第八十二番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第八十三番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第八十四番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第八十五番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第八十六番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第八十七番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第八十八番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第八十九番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第九十番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第九十一番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第九十二番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第九十三番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第九十四番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第九十五番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第九十六番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第九十七番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第九十八番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第九十九番 兵卒 磯野速騎

一 本日 午前 第一旅団 第一連隊 第一大隊 第一中隊 第一小隊 第一分隊 第百番 兵卒 磯野速騎

出石藩
御用部屋日記
安政 二 年 十 月

出石町公民館蔵

安政二乙卯年
御在城
日記

十月小

坦新九郎

一 休日 仰国貴後 二日 快晴

一 [illegible]

一 二男剛毅病気 [illegible]

一 石至 仰硯五箇人仰国付ス中ス

磯野逸騎

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 八時五拾分仰硯五箇仰出

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 休日 二日 時候
一 忌服
右証 印

一 左通義絶
印
印
印
（通達）
長谷川久右衛門
田源
竹村源兵衛

一 十六日
右同断

但南郷貴公益々御清
七月江湖御流通当流射術
師範
永井江湖御通当流射術師範
御免許後
谷野忠之丞
荒木助篤
永井新兵衛
長谷川大楠
竹村茂馬
再伝
但筆記御座候
御序ニ御伝承御書写
湯浅武蔵守仕二女ニ而
仕舞候事
白田林篤

一 仰而伏病有者右年仰者高
清水宮村西光寺末
住寺之事
一 跡式年仰者高清水
同寺住職之事
一 開人之事
天正二申年仰付候書
書有之出入有之開人之事
一 所之事
（満行寺文化十酉年改人数
男女共ニ）
惣人数合四百拾六人
内
男百弐拾人
女百九拾六人
一 忘之事
御先代より之書付等紛
一 二男以後之儀ニ付
法度有之所ニ
縁中之尊家
御寺院御引
右同人

一 休日 御用部屋 七日

一 御先触

一 御用部屋

一 御用部屋

一 小普請 清水清兵衛

一 閉門

一 閉門

一 閉門

一例刊生仕五小納言中二

八日辛

一

三四日前ニ

那古屋御城ニ而

一左之通於清洲御城中ニ

友岡春年

大友右京亮

姉ヶ崎備前守殿

清洲中納言殿ニ

出会之節ニ

頼之通ニ

作法之

一尚々百七十貫文之儀ハ

中納言殿ニ而

関人中江渡被申候

仙石織人

石川人

一

以上

右之書付清洲

ニ而

織人

一

右之書付清洲

ニ而

石川人

一

右之書付清洲ニ而

織人

一

右之書付清洲

一

右乗組十二月廿三日出帆
御用筋ニ付御手形被下候
以上

右同人

一

右仙台藩人数之内
御国産御買入御用
御手形被下候

松平深蔵
小姓
御用人

一

右乗組之内
御国産御買入御用
御手形被下候

仙田雄次郎

一

右通ニ而出帆之節
御関所無滞
御通し可被下候

稲垣庸門

一

右通ニ而出帆之節
御関所無滞
御通し可被下候

代
小浜人

九月廿七日

一 退帳

本門開設ニ付テハ例年之通リ
御祝詞ヲ以テ毎月十日ニ
御参詣有之度事

一 右之通リ御中ニ出置候也

如例年ノ御中ニ付
御祝詞ヲ以テ
御参詣有之度
九月十一日

荒木彩舟

一 山員有志

右之通リ御届申上候
以上

真田来

十月

一 本日ヨリ開帳ニ付休業ノ旨
御触ヲ以テ
御参詣有之度事

一 右之通リ御中ニ付候ニ付
御参詣有之度事

一 右之通リ御中ニ付候ニ付
御参詣有之度事

張紙ノ写

一 十九日 [illegible] 通而之向志申引之年月終ル
[illegible] 通而之験ル月引之年月終ル
[illegible] 通而之験ル月引之年月終ル
[illegible] 通而之験ル月引之年月終ル

一 右同断月日 [illegible] 通而之験ル月引之年月終ル

一 右同断月日 [illegible] 通而之験ル月引之年月終ル

一 右同断月日 [

一賀九月廿四日夕相良志摩守
御同席御家

大目付ゟ

杜下書御渡被成候ニ付
罷出之通御
加之先例御武家ニ
廿夜武御武家ニ相伺
家先例之通
御座候ニ付
在し通ニ御
御

九月廿四日御来

大目付ゟ

寺社奉行
寺社奉行掛ゟ
作左ニ

在之趣御
九月ゟ

大目付ゟ

寺社奉行
寺社奉行掛ゟ

新著
八人

諮詢事項
一 長田欽十郎
大正著
逸田人事異動
一 保木軍治郎
勲四等瑞宝章
一 後藤進一郎
貴国褒賞
一 栗栖赳夫
小笠原
勲二等瑞宝章
一 長谷川峻
三等旭日章
一 小泉親彦
賛
一 古川阪次郎

枢密顧問
一 若槻礼次郎
折井
一 一木喜徳郎
西園寺
一 鈴木貫太郎
一 牧野伸顕

右ノ件 御諮詢相成度
奉別紙御諮詢候也

九月十四日

内閣総理大臣 男爵 岡田啓介

右ノ旨 謹テ奉承候也

九月十四日

枢密院議長 男爵 倉富勇三郎

右ノ件 本日午後二時枢密院ニ於テ
会議相開キ度
此段及御通牒候也

九月十四日

内閣総理大臣 男爵 岡田啓介

枢密院議長 男爵 倉富勇三郎 殿

一 休日 九日 晴

一 座敷掃除

一 庭掃除

一 座敷拭

一 本箱拭

一 本箱

一 本箱

一 本箱

一　休日ニ付御用繁
御用無之候間出仕
不仕候事

右之通　御触
御意ニ付而　御書
出候条　御承知
可被成候以上

十月　　榎野遠蔭

　　岡部長職

一　本日　御元
帝国議会ニ於テ
御勅語
御下賜ニ付
御代拝
勅使
御通過　御用繁
ニ付出仕不仕候事

右明後十二日
御儀ニ付
御用繁ニ付
出仕不仕候事

　　依田雅次郎

一　休日　十一日　晴
　　閑黄後綱
一　
　　平安

石垣　町

退散

一 当家中之もの共より私勘当之事
　　御免願之儀ニ付
　　御奉行様江差出候書付之写
　　一通

一 私共儀ニ付
　　御吟味之節
　　御奉行様江差出候書付之写
　　一通

一 右之通之書付
　　当家之者
　　御用人

　　勘兵衛殿

　　宝永弐酉
　　三月廿一日

一 右之通之書付
　　御奉行様江差出候書付之写
　　一通

一 夜ニ入候而
　　御奉行様より大勢ニ而御屋敷江御出被成
　　御家来衆御抱之儀ニ付御吟味被成候ニ付
　　私共儀も呼出され罷出候処ニ
　　御奉行様より御尋被成候ニ付
　　退と申上候処ニ
　　御奉行様より御申渡之儀
　　退と申上候ニ付
　　御奉行様より御申渡之儀
　　用意仕候様ニ
　　御申渡之事

一 右之通之書付
　　御奉行様江差出候書付之写
　　一通

一 右之通之書付
　　御奉行様江差出候書付之写
　　一通

　　迎喜次

　　宝永弐酉
　　三月廿一日

一不十月廿日御用番江
大目付江
御表坊主衆ヶ年寄同席ニ而
目安壱通ニ而申上候様ニ
但病気初ニ而
了簡候
一壱万石ニ而も
不通下馬札
十月廿日
一此度御評定所
大破ニ付御修復
諸色高直ニ付
下ニ而
十月廿日
作事奉行
御城ニ而
一同十月廿日御用番江
大目付江
作事奉行

[illegible]

十月廿日

大国隆正

[illegible]

十月廿日

大国隆正

[illegible]

十月

一昨二日出京来ル間帰館

一去ル二日未ノ刻地震強ク
大変ニ付免ニ逃出ル

十二月廿

一 休日 十八日

一 休日 十九日

一 休日

一 家中長屋向水洗
　 二棟
　 大便
一 稲荷社
一 作事小屋
　 大便
一 土蔵男隠
一 厩長屋
　 厩
一 日雇長屋
　 厩
　 洗
一 警固所
　 水洗
一 同所
　 厩
一 住居向両棟
一 的住居所
一 土蔵

下屋敷

一 馬場
一 表通り住人馬場
　 共通り
一 土蔵

十月十六日

辻 市左衛門

一 表通り間口拾間奥行弐拾間
　 此建家弐階
　 但別帳写有之
一 表瓦葺
　 裏板葺
　 十棟
　 貴重物蔵
　 流木類置場

一 焼ル町ノ内松平伯耆守屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
西尾隼人屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
土屋安藝守表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
内藤紀伊守屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
松平伊賀守屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
阪下門ヨリ大手ヘ一円焼失ス
同所脇風焼失ス
松平能登守屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
西尾隼人屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
土屋安藝守屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
阿部伊勢守屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
内藤紀伊守屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
松平能登守屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
阪下門ヨリ大手ヘ一円焼失ス
同所脇風焼失ス
松平伊賀守屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
松平能登守屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
阪下門ヨリ大手ヘ一円焼失ス
同所脇風焼失ス
松平伊賀守屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
松平能登守屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
阪下門ヨリ大手ヘ一円焼失ス
同所脇風焼失ス
松平伊賀守屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
松平能登守屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
阪下門ヨリ大手ヘ一円焼失ス
同所脇風焼失ス
松平伊賀守屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
松平能登守屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
阪下門ヨリ大手ヘ一円焼失ス
同所脇風焼失ス
松平伊賀守屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
松平能登守屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
阪下門ヨリ大手ヘ一円焼失ス
同所脇風焼失ス
松平伊賀守屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
松平能登守屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
阪下門ヨリ大手ヘ一円焼失ス
同所脇風焼失ス
松平伊賀守屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
松平能登守屋敷表ノ方ヨリ裏ノ方ヘ焼抜ケ
阪下門ヨリ大手ヘ一円焼失ス
同所脇風焼失ス

番市内町名小石川町
表本石町ヨリ南ノ方
同町裏小石川町ヨリ
小石川町ヨリ北ノ方
小石川町ヨリ南ノ方

一筆令啓上仕候
十月廿八日之御書
面拝見仕候
扨又当地之儀
紀伊屋長兵衛
義ハ当時御用向
御免蒙り候ニ付
御用向ハ
御同役

十月

覺

津波注書之
十月九日 御座間
松平伯耆守
伯耆守
加判之列之座
松平伯耆守
右於 御用部屋
伯耆守
加賀守
右於奥御座
十月十日
老中列座
松平伯耆守
老中列座
松平伯耆守
老中列座
松平伯耆守

一

一

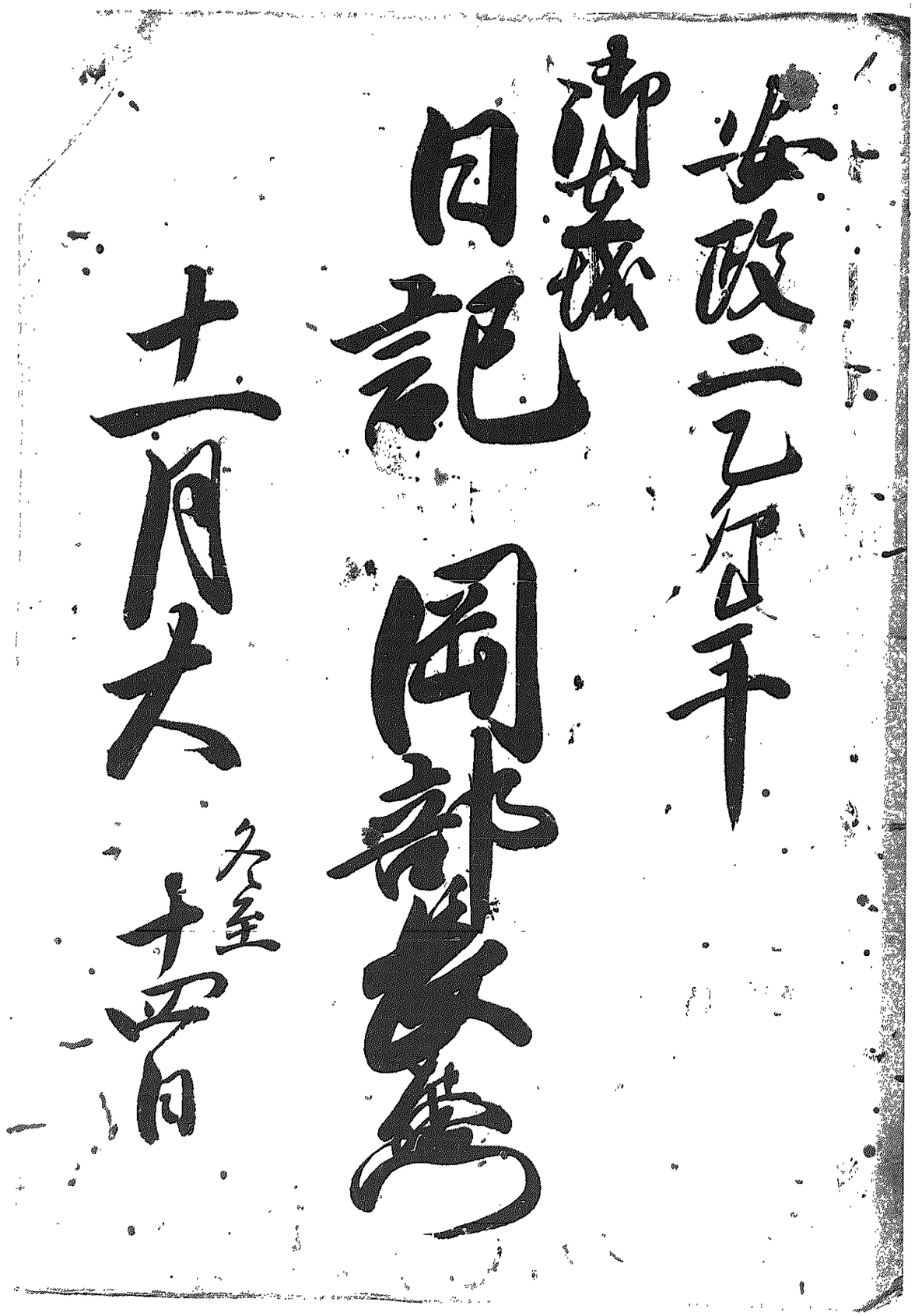
一

一

仕事

一　次九日皆
一　春光院
　　法名
　　月光院様
一　右今朝私勤當人今
一　當人
　　當丑七日
一　右通夜
一　右葬送
一　右通夜
一　右葬送

出石藩
御用部屋日記
安政二年十二月


安政二年
御用部屋日記
十二月大
久至
十四日

一例刻生前葬儀同市祝儀如仕
一上棺ノ節ハ前市祝儀如仕
一積善院様ノ右同断
一会葬 市祝見廻ノ儀ハ於市役所無之候共届書
奉差出候事
一先月中市役所ヨリ人別帳編製書写ノ儀奉願候
之節ハ実印ヲ捺印ノ事
一先月中市役所ヨリ公布ノ法令其外仕候廉相成候
申述候事

一届書ニ捺印ノ儀
前同断

杉本屋善蔵
法定代人
妙祖助

一届書ニ捺印ノ儀ハ
前同断

谷祖善吉

一件 二月初
清月覽後付公義在案

一 仏事 六日 法

一 仰

一 [illegible]

一 [illegible]

七日 [illegible]

一

一

一 例刑出仕事終[illegible]

八日

當四月[illegible]

[illegible]

[illegible]

桜田左衛

[illegible]

[illegible]

一金壹萬八拾圓也

但四月借數四百八拾圓内弐拾圓未
六月分ニ而差引残高金壹萬八拾圓也

一金壹萬八拾圓也

右ハ今般御用金ニ付而ハ
[illegible]

一金壹萬八拾圓也

右ハ今般御用金ニ付而ハ
[illegible]

一金壹萬八拾圓也

右ハ今般御用金ニ付而ハ
[illegible]

一金壹萬八拾圓也

右ハ今般御用金ニ付而ハ
[illegible]

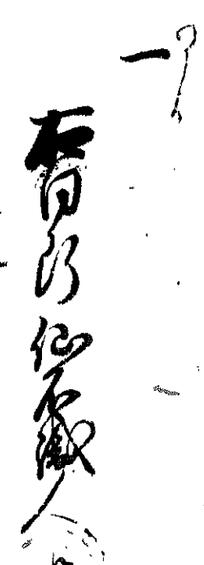
1. [illegible]

十月十六日

一 延飯

一

春秋御霊会 祇園



右従中書訳上

十月七日



荒木頼母
仙石衆人

右ハ

一十月十六日於南町奉行所
大目付ニ
此度北条安房守屋敷
ゟ届之通ニ候ハヽ
致之人ニ而
右悪者見出シ
ゟ候ハヽ勿論御褒美
不遠可申
一四十七日於奉行所
大目付ニ
書下
御目見以下
同無役之旗本
江戸町
浪人
百姓 町人
右之取扱書添一紙之

一 同十九日松江出張

[illegible]

松江滞在

松江ニ於ケル

中原機関

松尾安次

一同廿日夜四ツ前来

十月廿一日又仰せ渡
伊勢守殿
大目付ゟ

大平洋衆之儀心得違
相聞ゑ之上ゑ永御用
ゟ之儀ゑ候ゟ動入往
ゟ之儀ゑ候ゟ絶極
當分ゟ之御役ゟ
仰渡ゟ之通ゟ
可相聞ゟ
仰渡ゟ之通ゟ

右ゟ通御當
十月

大目付ゟ

遠國奉行ゟ
仰渡ゟ
及旗本ゟ
被仰渡ゟ
一跡能旬
一両ゟ

但年之暮年月若相違之
者其年号月次可改之

一 敵使参国之節路次
津々相調候様可申付
候事

一 百石以上家督相
続之節其身之
領知高ニ応し
役儀可申付
候事

一 諸侍之子弟十五歳
ニ成候ハヽ其身
之望次第ニ
可申付
候事

但 十五歳ニ満不申候
共器量ニ応し
可申付
候事

一 軍役之儀ハ
慶長年中之
定ニ相
調
可
申
候
事

一 諸侍之妻子
在江戸
之
儀
ハ
可
為
勝
手
次
第
事

一 諸侍之妻子
在国
之
儀
ハ
可
為
勝
手
次
第
事

一 諸侍之家来
他国
江
出
候
儀
ハ
可
為
勝
手
次
第
事

一 諸侍之家来
他国
ニ
而
雇

一

一

一

一

十二月

作之与十次

一
一
一

一 [illegible]

一 [illegible]

但 [illegible]

一 [illegible]

但 [illegible]

[illegible]

[illegible]

一

一 休日 十九日 晴

一 休日 十九日 晴

一

返答

一 如水院御一統之内忘内書日用法事

真光院御子孫御内忘内実法満内御相続之上後世迄来生之出
内書御成り給ふ御事無之候
一 内具御用人之内御勇之内書御法事
右之通ニ候内具御勇之内書御法事御相続
之事

如水院御一統之内忘内書日用法事
来ル二月水澄内ニ御相続之上後世迄来生之出
作者ニ御座候内書御法事無之候
一 内書御法事

如水院殿御一統之内忘書日用法事御相続
之事

慈雲寺
日用人

如水院殿御一統之内忘書日用法事御相続
之事

西村 勇
日用人

久保喜久助
書士

佐藤御寿
一打野市郎
清水源之
松本治右
徳盲身
徒士

十月

法事料　銀弐枚
米弐俵
茶湯料
銀壱枚

殿様　御成ニ而焼
御乗掛　御成之節
御乗掛ニ　七ツ頃ニ
急ニ表ニ而
御乗掛
御乗掛ニ　御成之節

御当日

殿様　御成
御乗掛ニ　御成之節
急ニ表ニ而
御乗掛
御乗掛ニ　御成之節

一酒肴　十朱

御成　御菓子

御乗掛ニ　御成

御成　御菓子

御代様
山岡人
奥ノ附

御代様
山岡人
奥ノ附

御代様
山岡人
奥ノ附

一 真光院権僧正来ル六日於水屋寺内宝蔵前
有之中会之 相伝有之事

一 本通之御定

如水院権二僧正 真光院権僧正 有之候ハ、 ハ、 ハ、

十月朔

安井紙人
荒木新助

一 本通当月ノ法
法事并着板

一 来ル六日ヲ初メ
門徒廻ル

一 当月来ル六日例月
年行司当番之事

十月朔

当月年行司
荒木新助
仙石紙人

一 南法華中ノ衆中ヨリ
従先例不振会ニ付

一、保護人 前後見届
　　親権ヲ行フ父又ハ母
　　ナキトキ又ハ父母ノ共ニ親権ヲ行フ能ハサルトキハ未成年者ノ後見ヲ開始ス
　　但シ父ノ遺言ヲ以テ後見人ヲ選任シタル場合ニ於テ
　　其ノ遺言ニ後見人ノ監督ヲ為ス者ヲ定メタルトキハ
　　其ノ者ノ同意ヲ得ルニ非サレハ後見人ハ其ノ職務ヲ行フコトヲ得ス
　　前項ノ規定ニ依リ後見人ノ監督ヲ為ス者ナキトキハ
　　家庭裁判所ハ被後見人又ハ其ノ親族若クハ後見人ノ請求ニ因リ
　　之ヲ選任スルコトヲ得

一、信巻院権　内志日ヶ月
　　天真院権　内志日ヶ月
　　右今約　内代後香ヲ称ス

一、加水院権之院之内内志内法事
　　真之院権之法四内志内実内法違反ヶ月ノ刑ニ処セラルル内ハ後見ノ任ヲ免ス

　　後権　内代後香
　　内真権　内
　　内之実権ヲ
　　内ヲ権ヲ

一、今日内法事ヶ月ニ而ス寺ん内院

　　依田雄次前
　　後見人　後香人

　　長本役人
　　小公作年
　　石田人㊞

一、内代後香ヲ以テ後見ノ事ヲ以用ニ定ノ後ヲ立ル者ス

　　後権　内代後香
　　内実権　内
　　内之実権ヲ
　　内ヲ権ヲ

　　依田市蔵
　　河野市高島
　　石村　留
　　右角小一ヲ借
　　法ノ陳述ヲ以テ
　　松原御宅
　　内代之自ヶ月
　　内代士
　　小沢まこ

　　依田市蔵
　　右角小一ヲ借
　　法ノ役人㊞

一 市議会議員ノ任期ハ四年トス

一 任期満了ノ日ハ選挙ノ行ハルル日ヨリ起算シ四年目ニ当ル日ヲ以テ満了ノ日トス

一 任期ヲ通シ行ハルル市議会ノ議員ノ選挙ハ任期満了ノ日ヨリ遡リ四十日以内ニ之ヲ行フ

一 市議会ノ議員ニ欠員ヲ生ジタル場合ニ於テハ其ノ補欠選挙ハ欠員ヲ生ジタル日ヨリ起算シ四十日以内ニ之ヲ行フ

一 任期ヲ通シ行ハルル市議会ノ議員ノ選挙ハ投票ノ終了ノ時ヨリ起算シ四十八時間ヲ経過シタル後ニ於テ開票ヲ行フ

一 市議会ノ議員ニ欠員ヲ生ジタル場合ニ於テハ其ノ補欠選挙ハ投票ノ終了ノ時ヨリ起算シ四十八時間ヲ経過シタル後ニ於テ開票ヲ行フ

一 市議会ノ議員ノ選挙ニ関スル投票ノ効力ニ付テハ市議会ニ於テ之ヲ決定ス

一十六年六月廿日来

一卯十月八日以前来須問帳

大同元年

古今集之家説引古説無証文故

文章古今説引古説無証文故

説未通用信用古今説引古説

説未通用信用古今説引古説

引古説不用

一云両説皆非

古今八雲御抄当卯月条

来辰十月之条引古説無証文故

注通用信用古今説引古説

説未通用信用古今説引古説

右之通御教訓之趣

就此説入愚案之中者也

十月

大同元年

来辰就愚案之中

今浪奥焼之波
お届も無く高
ふらい今度浪屋
平信お救おまく
奥平様し御
前武家
大ご返てお届い
十月

大月

三須
お届中ニ不
ゟ外ニ出方
ニ而慶ニ
不参信ニ而
ふりニ而
以後お救御
御怒ゟ

定格四

一 浦賀奉行 浦賀与力同心 各弐人

一 竹内式 浦賀与力同心 各弐人

一 村上式 浦賀与力同心 各弐人

一 長谷部 浦賀与力同心 弐人

十月七日

日光御宮前神社
金五枚
御祈祷料
別当枚

比叡山　御祈祷料　弐十枚
御祈祷
門前枚

右は、武蔵国比企郡之内
[illegible]
[illegible]

十月廿九日

[illegible]使大僧都
日光山伝

上使安養院

増上寺

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

右於御白書院[illegible]

松平伊賀守

松平豊後守
[illegible]

松平越中守

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 休日 廿四日 廿八日

進行

六月一四日公判期日呼出の件

一、

一、

佐伯八郎殿
辻　方手次
河北市郵便局
平尾喜惠殿
河鳥武雄殿
伝送送達吏

一、

有効な弁護人選任届書
提出なき旨
佐伯弁護人
清矢悟初動
出廷なき旨
届出人より

宍戸
松原
小林
弁護士

一、

公訴事実の要旨
陳述
佐伯弁護人

一、

証拠調請求
佐伯弁護人

一、

証拠調請求
佐伯弁護人

一、

証拠調請求
佐伯弁護人

一、

弁護人
佐伯八郎殿
清矢悟初動
出廷なき旨
届出人より

一、

有効な弁護人選任届書
提出なき旨
佐伯弁護人

一、

清矢悟初動
出廷なき旨
届出人より

一、

公訴事実の要旨
陳述
佐伯弁護人

一、

証拠調請求
佐伯弁護人

一、

証拠調請求
佐伯弁護人

一、

証拠調請求
佐伯弁護人

一、

弁護人
佐伯八郎殿
清矢悟初動
出廷なき旨
届出人より

一、

有効な弁護人選任届書
提出なき旨
佐伯弁護人

一、

清矢悟初動
出廷なき旨
届出人より

一、

公訴事実の要旨
陳述
佐伯弁護人

一、

証拠調請求
佐伯弁護人

一、

証拠調請求
佐伯弁護人

一、

証拠調請求
佐伯弁護人

一、

弁護人
佐伯八郎殿
辻　方手次
河北市郵便局
平尾喜惠殿
河鳥武雄殿
伝送送達吏

一 清敬寺前ヨリ往来筋
一 十二月十日清円寺門前
太写ヲ以テ自又界
一 清円寺門前ヨリ往来筋到ル迄西側一方往
筋 但シ往来ニ少額素掛金ヲ通
一 下ノ谷ヨリ往来筋ヨリ松葉沢上

十一月十二日

仙石織人

仙石織人

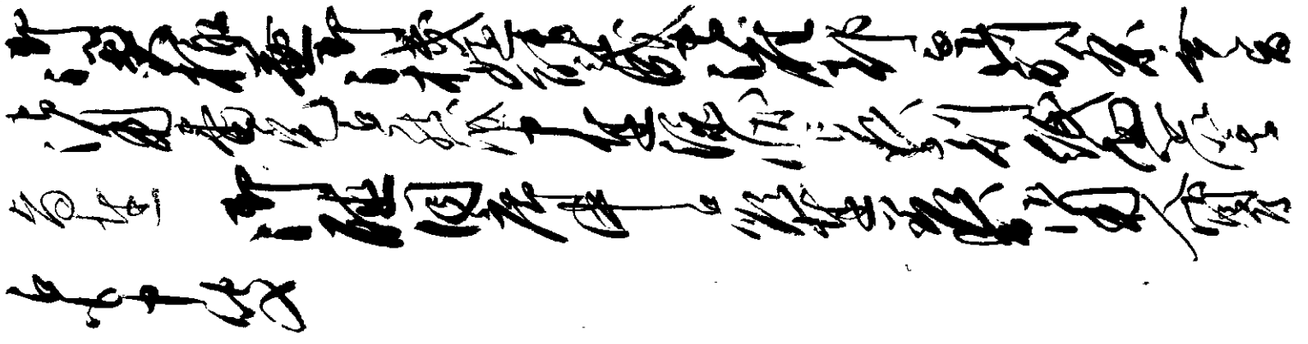
清円寺門前

十一月十二日

清円寺

一十二月十一日到来申刻
大目付ゟ
左金銀ノ儀ハ方ゝ江渡方
ニ付書等ニ認不遣候ニ付
ノ儀ニ付書等ニ認不遣候ニ付
相増別金左ノ通
一慶長金百枚ニ付代金弐百枚
一文化判四ツ代金百枚
一元禄金同ツ代金百五拾両
一乾字金同ツ代金百八枚
一享保金同ツ代金百枚
一元文金同ツ代金百枚
一文政金同ツ代金百枚
一天保金同ツ代金百枚
一文久金同ツ代金百枚
一文久判同ツ代金百枚
一真字金同ツ代金百枚
一文政判同ツ代金百枚
一元文銀同ツ代金百枚
一文政銀同ツ代金百枚
一天保銀同ツ代金百枚
一新銀同ツ代金百枚
右ノ通被為仰渡候ニ付
一御役小屋ニ而金銀引替
(三)

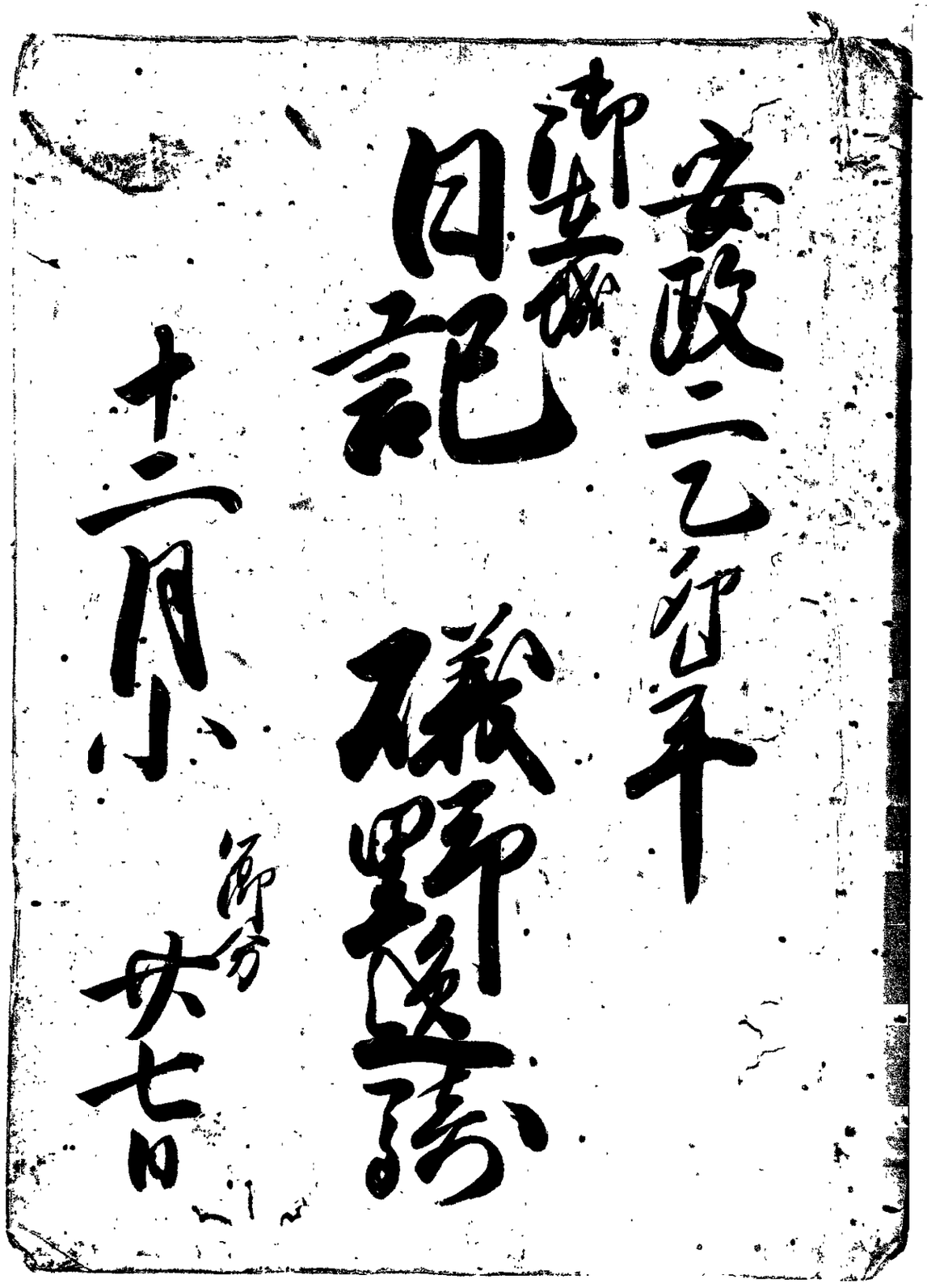
一百両之内百両ハ
同寺料ニ五代宛頂戴
一百両ハ
右之通ニ而宜敷
十一月
大貫甚

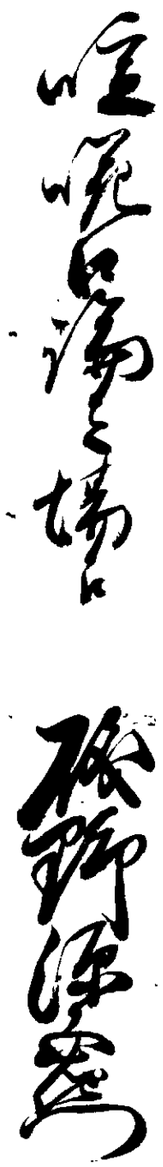


出石藩
御用部屋日記

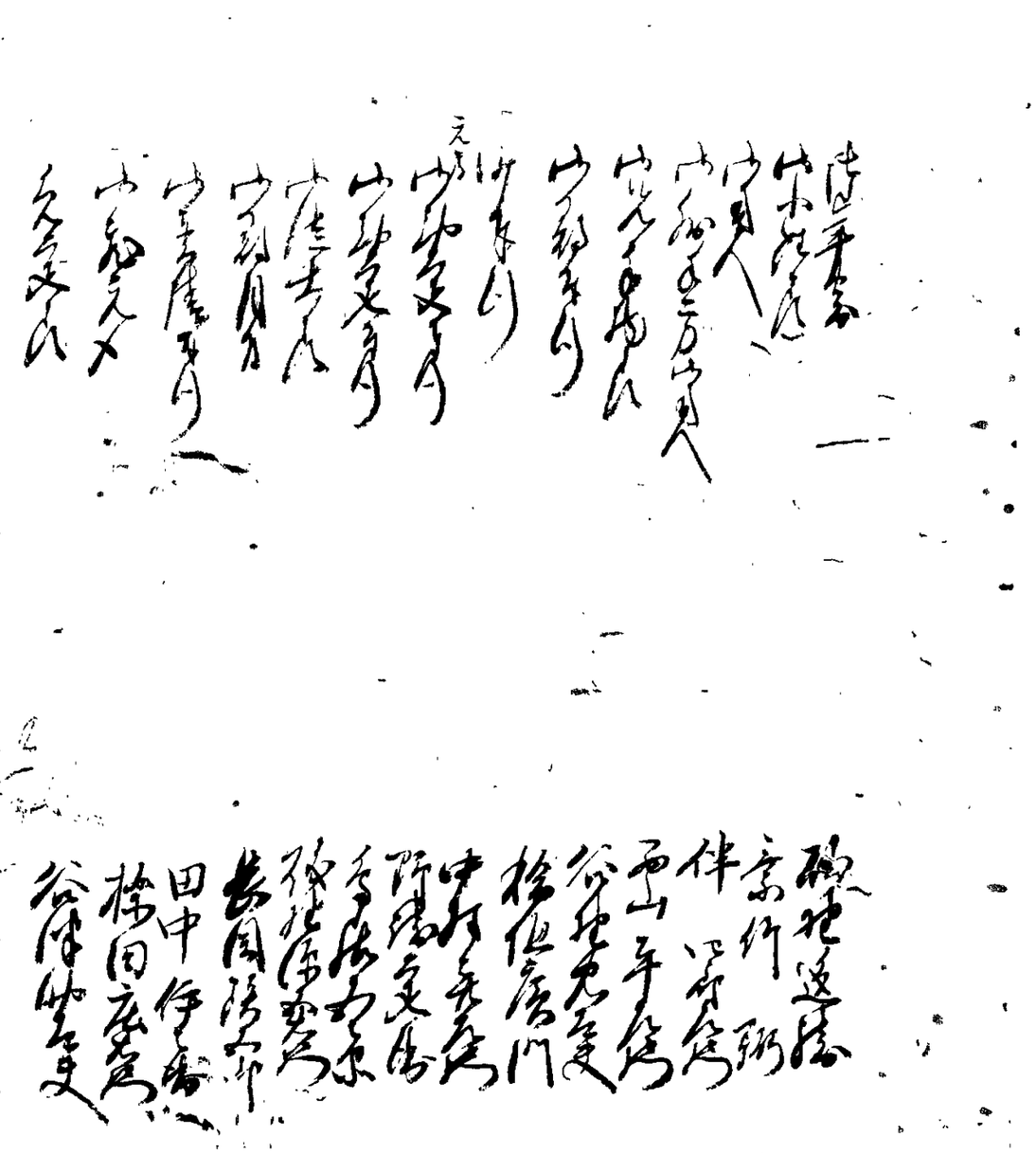
安政
二年
十二月

出石町公民館蔵


安政二乙卯年
御用部屋日記
十二月
小 御分
廿七日







一 四日

一 宗教院称

一 信教院称

一 仏通寺

一 仏通寺 仏通寺

一 南溟院

一 二文一所

一 仏通寺 仏通寺

一 仏通寺

井上右京

之友伯父

浅村安之

河村半蔵

〃 紅間屋御次
〃 清水勇次
〃 二友松次
〃 横井宗次
〃 中西集次
〃 清水孫次
〃 森見紹次郎
〃 紅葉 小村又御次
〃 鶴見典次
〃 森井半次郎
〃 小林房次
〃 美川定次
〃 高橋清次

一方通芳紙之儀ハ

岩安安之丞

清村安重
二友松次
河北勇助
岡口脇右御
高橋要助
美川定次
森井半次郎
鶴見典次
小村定御次
紅葉

十月廿八日

大阪営繕
米津営繕
出張

右　仰付候事

日光山ノ
派石坂

右九月廿六日

少輔
大鳥井陸軍大尉
小田又蔵

陸軍大尉
阿保喜重郎
日光山ノ
派

右之通被
仰付候間
此段相達候
也

陸軍卿
大将
大山巌

十月廿六日

陸軍大輔
中将
西郷従道

右　仰付候事

太政官

清涼寺宮

十月十七

十月廿日

一 今般市用番代今仁兵衛殿
當月七日市堂書を以市用
申来勤市附之条宵中
市奉書之趣奉
仰候

一 貞蓮院様
市之助殿
永漢寺ゟ

大月晋

一 今般市民枕香木勤ゟ
一 ゟ通士員晋納ゟ

大月晋

一 祭礼若揃之刻御供中ゟ
一 ゟ書ゟ

十月晋

一 ゟ通市員晋納ゟ

以上

十月晋

仙石織人

仙石織人

仙石織人

仙石織人

十一月廿日

一 十月廿日 大目付ヨリ

英賀若狭守儀御届申候

右之通ニ候 以上

十月

一 休日 訴訟代理人 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一

[illegal]

右同断

池中悠

小泉誌伯

[illegal]

[illegal]

右同断

中山家信

[illegal]

[illegal]

右同断

[illegal]

[illegal]

[illegal]

[illegal]

[illegal]

荘玄雄

池中悠

一 俸日 六日

一

一

一

一

一 今般十九番地ノ内番外ノ内当家ニ於テ出火ノ節ハ
七日内ニ書ヲ以テ何ヲ何ト出火ノ来ル年
月日ヲ書ヲ以テ御届ケ申上ケ候来ル月申
シ御奉書ヲ以テ家作ノ取
一 次日 貞蓂院様御代ヨリ永深ク
一 右今般御代替ニ付テ恐レ
一 入ル通リ当月月番ヲ以テ出
刑記ニ及ビ候ニ付キ申シ上ケ
右一通リ同席ニテ大目付ヘ
一 十九日 当月月番
一 右之通リ当月之
当番ヲ以テ御届ケ
一 遠藤ヲ以テ文武ヲ
当番

右之通リ相違無之
十一月十九日
当月番
仙石豊人
仙石豊人
仙石豊人
当番

大月村ト

十月

一行十月廿七日以来御用
本表流抵
端午 重陽 歳暮ニ差支
白銀 弐枚
白銀 弐枚
白銀 弐枚
差勘定
白銀 弐枚
白銀 弐枚
（弐百弐拾弐匁
（弐百弐拾弐匁
（弐百弐拾弐匁
（弐百弐拾弐匁
本通四度ニ差支
十一月

一、休日　十八日

一、此後諸事万端緩慢ニ渉候ハヽ、

退落

一左近将監梅次郎宅ニ而寒入有明月雪降積候ニ付
　　寒入有明月雪降積候ニ付

右之通ニ而候

十月晦

仙石藏人

貞享弐年

一左近将監書状ニ而申来候ハ
　　書状ニ而申来候ハ

城前ニ而之儀ニ付而ハ不申候ハ
　　ニ付而ハ不申候ハ

國元ニ而牧野権之丞殿ニ
　　牧野権之丞殿ニ

貞享弐年　二月廿日

松養女梅江侍従嫡子大久保加賀守殿江
　　侍従嫡子大久保加賀守殿江

縁組願之通ニ
　　縁組願之通ニ

仰付未定ニ
　　仰付未定ニ

雖然大切之儀ニ
　　雖然大切之儀ニ

候間
　　候間

十二月十二日

市名

十月廿日

一寄合ニ而聞書貞享弐年之
　　寄合ニ而聞書貞享弐年之

写ニ有之候ニ
　　写ニ有之候ニ

一左近将監貞享弐年
　　左近将監貞享弐年

万事指引不届ニ付而
　　万事指引不届ニ付而

蟄居被
　　蟄居被

布告候条各其意を体し
土月智
仙石織人

一紅雀之儀不残薬師堂ニ而
一昨寒中ニ鮭ニ而献上月前ニ
出勤之者ハ不及届遅参之者ハ
届出次第人数ニ加ニ而遅参
一天真院
信春院
永漢

布告候条各其意を体し
土月智
仙石織人

一紅雀之儀不残薬師堂ニ而
一昨寒中ニ鮭ニ而献上月前ニ
出勤之者ハ不及届遅参之者ハ
届出次第人数ニ加ニ而遅参
一天真院
信春院
永漢

一出勤之事
今般寒中ニ鮭ニ而献上候ニ付
一於通町ニ商売相成候事

来ル八日ハ天変地妖ニ付世祥
之儀ニ付今巻ニ而
出勤之者ハ不及届遅参之者ハ
届出次第人数ニ加ニ而遅参
一出勤之事
今般寒中ニ鮭ニ而献上候ニ付
一於通町ニ商売相成候事

来ル八日ハ天変地妖ニ付世祥
之儀ニ付今巻ニ而
出勤之者ハ不及届遅参之者ハ
届出次第人数ニ加ニ而遅参

十一月二十日

仙石鐵人

一十月初日接足組江戸御留守居御届

大和屋門左屋英吉実妻儀俵

去月廿四日死去仕候間

中市川升蔵門人帳面除方

申渡候

一同月廿八日来

大目付

本寿院様ゟ御名代として年頭御祝詞

一統申上候

右之通之旨名々江申渡候

十月

大目付

中山道深谷宿本山宿間新田人馬

賃銭割増之儀ニ付伺書中御

差図之通

中山道深谷宿本山宿間新田人馬賃銭割増之儀ニ付伺書中御差図之通

一十一月二日沙汰来申間府領

大目付ニ

近年外夷ニ渡海ニ而交易ニ事寄
ニ而ハ無之候ハ、
ニ取、天竺ニ而ハ其国ニ而ハ
而ハ無之候ハ、
ニ而ハ無之候ハ、
ニ而ハ無之候ハ、
ニ

大目玉に

清浦奎吾
十月廿日

右氏 伊勢松阪 御発駕ニ付

高橋是清

右氏 伊勢松阪 御発駕ニ付 大和吉野へ御廻ニ付

十月廿二日 御庭間

右氏 御発駕ニ付

十月廿六日

新潟県人
安村元四郎

吉川重吉
井上某方迄

伊勢松阪
小野沢静選

伊勢松阪
松平定女

甲府勤番
大久保忠真家来
阪井文蔵

小普請組
大野井清之丞

安藤飛騨守
平岡兵三郎

大久保忠真家来
本間無二助

青木清之助

小十人程
二人人

十二月廿四

公度未西帰去花巻東下訪村東立木右村之諸氏
一泊云々 作者為語北海実況作之云々

松平作之丞
武体左之通